

II

平成27年度 募集要項

平成27年度 通信教育部募集の概要

学費（正科生）

入学志願から学習開始まで

ご出願にあたって

入学志願書A 記入上の注意

入学志願書B 記入上の注意

正科生 1年次入学 募集要項

正科生 2年次編入学 募集要項

正科生 3年次編入学 募集要項

科目等履修生 募集要項

幼稚園教諭免許状・保育士資格
取得希望者の特例講座のご案内

幼保特例講座 入学説明会のご案内

平成27年度 通信教育部募集の概要

1 募集学科・募集人員

募集学科	募集人員
総合福祉学部 社会福祉学科	600名（1年次入学・2年次編入学・3年次編入学 計）
福祉心理学科	200名（1年次入学・2年次編入学・3年次編入学 計）
科目等履修生	若干名（幼保特例講座 保育士取得者は200名・幼稚園免許状取得者は500名）

2 入学審査の方法

書類選考により入学審査を行います。入学審査にあたって筆記試験はありません。

3 募集期間・入学時期

4月生（4月1日付入学）	募集期間 平成27年1月5日（月）～4月15日（水）必着（注1・2）
10月生（10月1日付入学）	募集期間 平成27年7月1日（水）～10月15日（木）必着（注1・3）

（注1） 本学卒業（見込）者で「社会福祉援助技術実習指導A・B・実習」の3科目のみを「科目等履修生」で受講する方の出願締切は4月生：1月31日（土）、10月生：9月3日（木）必着です。くわしくはp.28参照。

（注2） 3年次編入学・4年生の「精神保健福祉士受験資格取得希望者」で入学初年度に「精神保健福祉援助実習A」受講を希望する場合は、できるだけ2月28日（土）、遅くとも3月27日（金）必着の4期までに出席する必要があります（p.120）。

（注3） 10月生ご出願にあたっては、入学半年後の平成28年4月にカリキュラム変更が在生学生も含め予定されていることをご了承ください（詳細資料は9月配付予定）。

●出願書類受付日と選考結果発送予定日

- ・4月生・10月生とも6期に分けて入学選考を行います。下表のとおり、出願時期により、選考結果通知の発送予定日が異なります。
- ・各期の最終日までに書類のすべてがそろっていない方は、次期以降の選考となります。
- ・学習開始日はp.26に記載のとおり、入学許可後に学費を納入し履修登録手続きをすませてからとなります。出願の時期が遅くなった方は、教材の到着など学習の開始がその分遅れますので、ご了承ください。

▶ **4月生（4月1日付入学）** 4月1日に学習をスタートさせたい方は3期までにご出願ください。

入学選考期	出願書類受付日（本学必着）	選考結果発送予定日	学費納入期限	入学日
1期	平成27年1月5日（月）～1月31日（土）	2月17日（火）	3月31日（火）	4月1日 出願日にかかわらず4月1日～翌年3月31日が1年間となります
2期	2月1日（日）～2月28日（土）	3月11日（水）		
3期	3月1日（日）～3月12日（木）	3月19日（木）	4月18日（土）	
4期	3月13日（金）～3月27日（金）	4月4日（土）		
5期	3月28日（土）～4月7日（火）	4月14日（火）	4月30日（木）	
6期	4月8日（水）～4月15日（水）	4月27日（月）	5月7日（木）	

※ 4月24日～の春期スクーリングⅢを受講する場合は、できるだけ第3期、遅くとも第4期までに出願したうえで、4月15日（水）必着で履修登録用紙・スクーリング申込みハガキを送付する必要があります。

※ 3年次編入学で2年で社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得・卒業しようと思う方は原則として4期までに出願をお願いいたします。

※4月生で出願や諸手続きの早い方は3月5日以降に教材を送付できる予定です。レポート提出やスクーリング受講は4月1日以降となります。

▶10月生（10月1日付入学） 10月1日に学習をスタートさせたい方は3期までにご出願ください。

入学 選考期	出願書類受付日（本学必着）	選考結果 発送予定日	学費納入期限	入学日
1期	平成27年7月1日（水）～7月22日（水）	7月31日（金）	9月30日（水）	10月1日 出願日にかかわらず10月1日～ 翌年9月30日が 1年間となります
2期	7月23日（木）～8月17日（月）	8月25日（火）		
3期	8月18日（火）～9月3日（木）	9月11日（金）		
4期	9月4日（金）～9月15日（火）	9月25日（金）	10月10日（土）	
5期	9月16日（水）～10月1日（木）	10月9日（金）	11月10日（火）	
6期	10月2日（金）～10月15日（木）	10月26日（月）		

※10月12日～の秋期スクーリングⅠを受講する場合は、第3期までに出願し、9月17日（木）必着で履修登録用紙・スクーリング申込みハガキを送付する必要があります。

※10月30日～の秋期スクーリングⅡを受講する場合は、第4期までに出願したうえで、10月8日（木）必着で履修登録用紙・スクーリング申込みハガキを送付する必要があります。

※10月生で出願や諸手続きの早い方は8月20日以降に教材を送付できる予定です。レポート提出やスクーリング受講は10月1日以降となります。

【10月生としての出願について】

- ・入学時、スクーリング開講予定が最初の半年分（3月まで）しかわからないという点があります。
- ・社会福祉援助技術実習受講者は最低修業年限での卒業のためには8月2週までに実習を終える必要があります。

4 出願にあたってのご注意

本冊子をよくお読みいただき、自分の目的に合ったコース（正科生か科目等履修生）、および正科生の場合は、(1) 志望学科（社会福祉学科・福祉心理学科のいずれか1つ）

(2) 入学学年の選択（1年次入学・2年次編入学・3年次編入学のいずれか1つ）

をお決めの上ご出願ください。

その他、出願にあたってのご注意は下記のとおりです。

- 提出方法** 出願書類は、本学所定の出願用封筒を使用し、書留で郵送するか、直接通信教育部に持参してください（持参の場合の受付時間は、平日・土曜日 午前9時より午後5時までです）。
- 出願の取消・変更** 出願後の取消・変更はできません。また、いったん納入された入学選考料は返金できませんので、ご了承ください。
- 入学審査方法** 書類選考により、入学審査を行います。入学にあたって筆記試験はありません。
- 二重学籍者の入学** 他の大学院、大学、短期大学に在籍しながら、本学通信教育部にも在籍する場合は、在籍中の学校の許可を得たうえでご入学ください。
- 外国人（外国籍の方）の入学** 日本語が理解でき、テキストによる学習能力があり、科目修了試験・スクーリングへの出席が可能であることが必要です。
- 国外に在住している方の入学** 本学からの送付物はすべて日本国内に住所のある保証人の方にお送りします。ご了承のうえ、ご入学ください。
- 身体等に障害・疾病がある方の入学** 身体等に障害・疾病のある方で入学後に特別な配慮を希望される場合は、入学前に通信教育部まで書面でご相談ください。そのうえで配慮を希望される方は志願書裏面の該当欄に記入のうえ、障害者手帳を所持している方はコピーを志願書裏面に貼付してください。

18歳から80歳代までの方が学んでおられます。18歳以上ならば入学に年齢制限はありません。

学費（正科生）

入学選考料 10,000円 出願時に本学所定の払込用紙（青字印刷・本冊子に同封）を使用し、**郵便局（ゆうちょ銀行）**より納入してください（くわしくはp.26を参照ください）。

初年度納入金

入学金	30,000円	} 入学許可通知が届き次第 コンビニエンス・ストア より納入してください（p.26も参照してください）。 ※初年度納入金には、学生教育研究災害傷害保険料140円が含まれています。 ※初年度納入金納入以降の入学辞退については、p.31記載のとおりです。
授業料	90,000円	
施設設備資金	30,000円	
計	150,000円	

・ **2年め以降の学費**は、授業料90,000円および施設設備資金30,000円の合計120,000円／1年です。ただし、学費スライド制の適用により改訂されることがあります。

※学費スライド制を適用するときの変動率（対前年度アップ率）は原則として次のものを基準とします。

- 1) **授業料** 人事院による「国家公務員の給与に関する勧告」によって示された国家公務員給与の対前年度アップ率に、同じく定期昇給のアップ率分を加算したものになります。
- 2) **施設設備資金** 消費者物価指数（総務省統計局全国総合）の対前年度アップ率によります。

・ **5年め以降（3年次編入学者は3年め以降）の学費**は、授業料90,000円／1年が必要になります（施設設備資金は不要になります）。半年間で卒業した場合も同額です。

その他、入学後の諸経費は、下記のとおりです。

スクーリング受講料	1単位5,000円（ただしS科目・特講科目は1単位7,000円、演習・実習指導・実験・実技科目は1単位10,000円） スクーリング受講前の締切日までに納入することが必要です
社会福祉士課程履修費	10,000円（ 社会福祉援助技術演習Aスクーリング受講後に請求 ）
実習費	3～4年次以降で下記の実習科目の履修を希望する際に必要になります／実習保険料を含みます
社会福祉援助技術実習	110,000円（巡回指導1回・帰校指導3回の場合；p.101, 106もご参照ください）
精神保健福祉援助実習	160,000円（実習A 85,000円, 実習B 75,000円）
障害者教育実習	30,000円 —— 特別支援学校免許状希望者
超過単位履修費	1単位5,000円（ 1年間に41単位以上履修登録する場合のみ必要 ）
社会福祉士・精神保健福祉士 指定科目個別単位認定手数料	10,000円（希望者のみ、p.118～119参照）
休学費	10,000円／1年（休学する場合に必要になります） ※入学初年度の休学はできません。

Q1 卒業するまでに大体いくらがかかりますか。

- A. 1年次入学者が4年間で卒業するまでにかかる金額は約70万円、最初の1年間では約20万円です。
3年次編入学者が2年間で卒業するまでにかかる金額は約37万円です。

スクーリングを年間8単位分受講する場合は下表のとおりとなります。スクーリング受講料は1単位5,000円の科目が大半です。なお、演習・実習科目のスクーリングを受講する場合1単位10,000円となるため、またスクーリングを受講する科目数によって、金額が増減します。実習を受講する方は、実習受講年次に実習費が別途かかります。

5年め以降（3年次編入学者は3年め以降）在籍する場合の学費は、授業料90,000円／1年が必要です。

社会福祉士受験資格取得希望者の学費はp.101を、精神保健福祉士受験資格取得希望者の学費はp.122をご覧ください。

	入学1年め	入学2年め	入学3年め	入学4年め
入学選考料(注1)	10,000円	—	—	—
入学金(注2)	30,000円	—	—	—
学費(注2)	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円
スクーリング受講料(例：8単位/年分)(注3)	40,000円	50,000円	50,000円	40,000円
合計	200,000円	170,000円	170,000円	160,000円

(注1) 出願書類の提出時に納入が必要です。

(注2) 入学1年めは入学許可後p.22～23に定める
期限まで一括で納入が必要です。

(注3) スクーリングを申し込んだ後に、受講前の締切日までに納入が必要です。

3年次編入学者が2年間 37万円

1年次入学者が4年間 70万円

Q2 教科書代は別に必要ですか。

- A. 各科目の教科書（または資料プリント）代金は学費のなかに含まれています。また、正科生はレポート用紙を1年に20冊（40単位分）無料送付します。

Q3 奨学金制度はありますか。

- A. 本学の通信教育部にご入学いただきますと、Q1のとおり、初年度で20万円、次年度以降は年間約17万円の学費等がかかります。本学では直接これらの学費を対象とした奨学金制度はありませんが、「夏期スクーリング」を7日間以上受講する正科生の学生が対象となる「独立行政法人・日本学生支援機構」の奨学金が利用できます。貸与金額の種類としては、無利子の第一種奨学金（88,000円）と有利子の第二種奨学金（きぼう21プラン）（30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円）があります（金額は平成26年度のもの）。修得単位数等の出願資格条件がありますので、詳しくは、入学後に配布される『学習の手引き』をご覧ください。

このほかには、本学独自の給付型（返還不要）の奨学金制度もありますが、こちらは、本学入学後（2年目以降）の成績優秀者を対象とした制度となっています。

Q4 学費の分割納入は可能ですか。

- A. 正科生の方はオリコ（株式会社オリココーポレーション）の「学費サポートプラン～学費立替払い制度～」を利用すれば可能です（年利率3.8%＝平成26年11月現在＝の利子が必要です）。

初年度納入金をオリコが学費負担者に代わって本学に一括納入し、学費負担者はオリコに毎月分割にて返済する制度です。詳しくはオリコwebサイトにてご確認ください。

Web：[オリコ 学費] 検索 > オリコ学費サポートプラン > 東北福祉大学 通信教育部

電話：0120-517-325（オリコ学費サポートデスク／平日9:30～17:30）

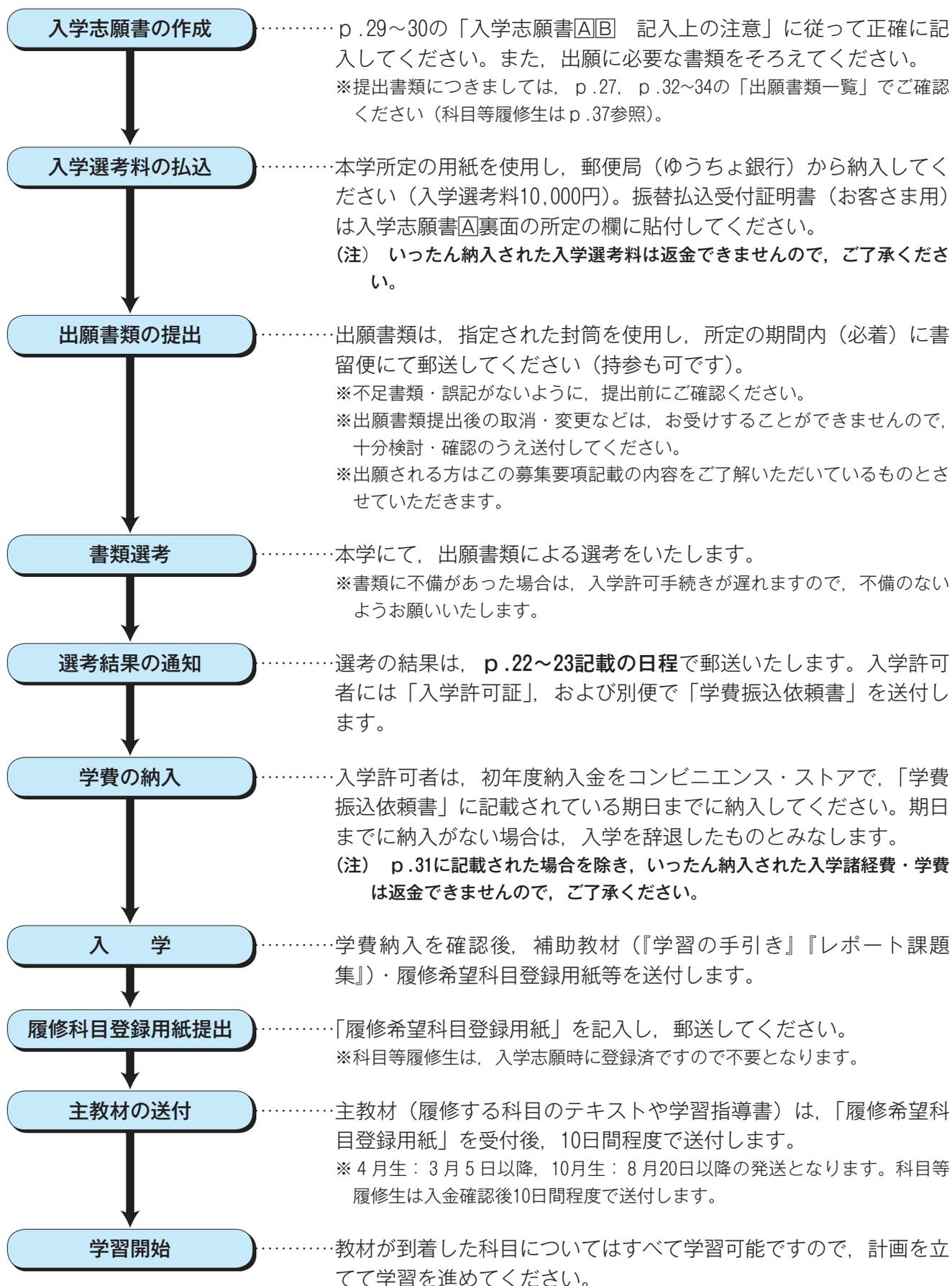
Q5 東日本大震災の被災者への学費減免はありますか。

- A. 平成27年度正科生への入学者で平成23年3月11日時点でお住まいの家屋が全壊・流出、原発事故で強制避難を余儀なくされている方は、平成27年度の学費が半額免除となる予定です（在学中1回限り）。

対象者はご入学後に手続き（り災証明書などの提出が必要です）をお問合せください。学内審査後、平成27年度の初年度納入学費の半額（75,000円）を返金させていただく予定です。なお、科目等履修生や平成23年3月11日時点でお住まいの住所が公的書類で確認できない場合は対象外となります。

※入学選考料の免除はございません。

入学志願から学習開始まで



ご出願にあたって

1 出願書類一覧

書類名	留意事項	チェック欄
1 入学志願書A (様式1)	(1) 同封の入学志願書を使用し、「入学志願書A記入上の注意」(p.29を参照)熟読のうえ本人自筆で(ワープロ・パソコン不可)正確に記入してください。黒インクまたは黒ボールペンを使用し、楷書ではっきり記入してください(鉛筆書き不可)。裏面の保護者・保証人欄なども必ず記入してください。 (2) 保証人は本人の在学中の一切の義務と責任を引き受けてくれる成人(親族が望ましい)に依頼してください。保証人の方の収入の有無は問いません。	<input type="checkbox"/>
2 入学志願書B (様式2)	文部科学省など関係機関への統計調査および入学後の学習支援のために、現在のご職業や履修・資格取得に関するご希望などをお伺いしています。p.30の「記入上の注意」を参考に、必ず記載の上ご提出ください。	<input type="checkbox"/>
3 振替払込受付 証明書	郵便局(ゆうちょ銀行)で、入学選考料10,000円を納入し、その際受領した「振替払込受付証明書」を入学志願書Aの裏面の所定の欄に貼付してください(「振替払込金受領証」はご自分で大切に保管してください)。	<input type="checkbox"/>
4 写真1枚 (入学志願書 A貼付用)	(1) 出願日前3カ月以内に撮影した写真1枚(タテ4cm×ヨコ3cm/カラー・白黒どちらでも可)。正面・上半身・無帽・背景なしのものを、入学志願書Aの所定の欄に貼付してください。 (2) 裏面には氏名・志望学科を記入したうえで貼付してください。 (3) 不鮮明な写真(上記条件を満たさないものやスナップ写真など)は不可です。	<input type="checkbox"/>
5 志望理由書 (様式3)	同封の志望理由書に自筆で400字以上1,000字以内で記入してください(鉛筆書き可)。	<input type="checkbox"/>
6 入学資格を証 明する書類	出身大学・専修学校専門課程・高等学校発行の①卒業証明書・②成績証明書など 1年次入学者 p.32の表参照 } ※証明書類は、各自出身校に依頼 2年次編入学者 p.33の表参照 } してください。 3年次編入学者 p.34の表参照 } (厳封でなくても可) 科目等履修生 p.37の表参照	卒業証明書 <input type="checkbox"/> 成績証明書 <input type="checkbox"/>
7 戸籍抄本	証明書類の氏名と現在の氏名が異なる方のみ。氏名の変更内容が確認できるようにするためのもの。	<input type="checkbox"/>
8 (社会福祉援 助技術実習免 除該当者の み)実務経験 申告書(様式 9)・実務経 験証明書(様 式10)	(1) 入学前に指定施設で相談援助の実務経験を1年以上有する方が、社会福祉援助技術実習免除を希望する場合のみ提出してください。「相談援助業務」を行う専任の職員以外は実務経験として認められません。また、見込み証明による出願はできません。くわしくはp.108~117をご覧ください。 (2) 「実務経験申告書(様式9)」は本人が記入してください。実務経験の記載1箇所ごとに1枚の「実務経験証明書(様式10)」が必要になります。 (3) 「実務経験証明書(様式10)」は証明権者(実務経験を行っていた施設等の代表者=院長・施設長・所長・所属長など)の公印が必要です(個人名印は不可)。証明内容を訂正した場合は、証明権者の公印を押印してください。	実習免除 希望者のみ 様式9 <input type="checkbox"/> 様式10 <input type="checkbox"/>
9 精神保健福祉 士受験資格取 得希望者のみ が提出する書 類	(1) (精神保健福祉士受験資格取得希望者すべて) 出願時の誓約書(様式12) (2) (3年次編入学・4月生・初年度=10月生次年度=実習A受講希望者のみ) 「精神保健福祉援助実習A 受講希望届」(様式15) (3) (精神保健福祉援助実習・免除者のみ) 実務経験申告書(巻末様式13)・実務経験証明書(巻末様式14) 様式12~15は本冊子巻末にあります。	<input type="checkbox"/>

※証明書は、いずれも発行後1年以内(本学への出願日を基準)のものを提出してください。

※提出された出願書類は一切返却できませんので、あらかじめご了承ください。

2 本学通信教育部の正科生・科目等履修生から再入学を希望する場合

1. 出願書類

p.27の「1.入学志願書A」「2.入学志願書B」「3.振替払込受付証明書」「4.写真1枚」「5.志望理由書」「6.卒業証明書などの証明書類」は必要ですが、「7.戸籍抄本」をあらためて提出する必要はありません。また、①科目等履修生に再入学する方、②正科生に再入学する場合で、通信教育部卒業者および間をおかずに再入学する通信教育部退学者は「6.卒業証明書・単位修得証明書」も不要です。

なお、入学選考料10,000円は必要です。入学金30,000円は免除となります。ただし、科目等履修生から科目等履修生に再入学する方は入学金30,000円は免除にならず必要となります。

2. 単位認定

本学通信教育部正科生・科目等履修生として修得した単位（スクーリング単位を含む）は、正科生に編入学した場合、編入学した学科の卒業要件に従って、個別に単位認定をいたします。

3. 間をおかずに再入学を行う方の事前申告について

本学通信教育部学生として在籍しており、間をおかずに再入学を行う場合は在籍中の2月末、8月末までの「学籍変更・再入学の事前申告」「3月末（9月末）付の退学願」の提出が必要です。3月末（9月末）まで在籍し4月生（10月生）として再入学をする方（正科生から科目等履修生への変更など）は、在籍中に機関誌『With』のご案内に従って手続きを行ってください。

なお、半年以上の間をあけて再入学をする方は、この事前申告は不要です。

3 本学通学課程・通信教育部卒業者で科目等履修生として「社会福祉援助技術実習」を受講する場合

- ・本学の卒業〔見込〕者（通学課程・通信教育課程とも）で、「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術実習指導A・B」以外の社会福祉士国家試験受験資格に必要なすべての科目の単位を修得している方は、「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術実習指導A・B」の3科目を科目等履修生で履修することができます（出願締切 4月生：1月31日 10月生：9月3日）。

※卒業見込の場合は、出願時に卒業要件を満たすすべての指定科目を単位修得していることが必要です。

- ・平成25～26年度に「通信教育部 次年度実習ガイダンス」を受講していない方（本学通学課程から科目等履修生として入学した方など）は、「次年度実習ガイダンス」受講希望の旨を、任意の用紙にて必ず通信教育部までご送付ください。折り返し関係書類をお送りいたします。また、下記のいずれか1回の日時に実習ガイダンスを受講しなければ実習を行うことができません。

◎9月3日までに届出願する方 平成27年7月5日（日） 14：40～16：10 本学

平成27年9月12日（土） 16：10～17：40 本学

- ・1月出願者は実習指導Aスクーリングを4月4日（土）に本学で受講することが必須となります。
- ・実習の受講にあたっては、入学時にお支払いいただく授業料以外に、科目等履修生の学費に記載の実習費・事前指導スクーリング受講料が必要です。
- ・p.37の出願書類一覧以外に、「卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書」（通信教育部提出用＝通学課程卒業の方は教務課に500円の定額小為替と返信封筒同封のうえお申込みください／通信教育部卒業の方は不要）を添付して、出願してください。

入学志願書A 記入上の注意

黒インクまたは黒ボールペンを使用し、すべて本人自筆で記入してください（ワープロ不可）。

2015年度

東北福祉大学通信教育部

入学志願書A (学生個人カード)

フリガナ フクシ サブロウ		学籍番号 ※	受付※ 番号
氏名 福祉 三郎		本籍地 宮城 都 道	のりづけ 写真 出願日前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもので、縦4cm、横3cmの大きさとし、裏面に氏名・希望学科を記入すること。
生年月日 西暦 1977 年 11 月 22 日生 (昭和 52 年)		年齢 38 歳	
志望コース <input checked="" type="checkbox"/> 正科生 <input type="checkbox"/> 科目等履修生	学科 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉学科 <input type="checkbox"/> 福祉心理学科	入学年次 <input type="checkbox"/> 1年次入学 <input type="checkbox"/> 2年次編入学 <input checked="" type="checkbox"/> 3年次編入学	学籍番号 ④の場合の学籍番号(注1)
現在 ※1 〒 981-8522 宮城 都・道・府・県	電話 (022) 233-2211	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
住所 ※2 仙台 市・区・郡 青葉区国見1-8-1	FAX (022) 233-2212	連絡を希望する場合に記入してください。	
※3 国見荘201号	携帯電話 (090) 0000-XXXX	※1 都道府県まで記入 (例:宮城県)	
電子メールアドレス saburou @ +fu.ac.jp	※2 市・区・郡 (例:仙台市, 世田谷区, 福島市, 刈田郡)		
勤務先 名称 社会福祉法人 東北福祉会 せんだんの杜	住所 〒 989-3201 電話 (022) 277-1122	※3 アパート・マンション名・部屋番号 (例:青葉区国見1-8-1)	
学歴	西暦 1993 年 3 月 仙台市立 仙台 中学校卒業	現職または最終職歴からさかのぼって新しいもの2つを記入してください。	
	西暦 1996 年 3 月 宮城県 青葉 高等学校卒業 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業見込・中退	それ以前のは裏面を使用してください。	
	西暦 1998 年 3 月 東北福祉専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業・卒業見込・中退	希望するものを○で囲んでください。	
	西暦 年 月 卒業・修了(見込)・中退	同居人がいない場合、両親、兄弟姉妹について記入してください。	
	西暦 年 月 卒業・修了(見込)・中退	記入日の日付です。	
	西暦 年 月 高等学校卒業程度認定試験 合格・見込	本人および保証人がそれぞれ自筆で署名・捺印してください。(捺印を忘れないこと)	
職歴(注2)	西暦 1998 年 4 月～西暦 2001 年 3 月 株式会社 国見商店	取得を希望する資格・免許状 (○で囲む)	
	西暦 年 月 社会福祉法人 東北福祉会 せんだんの杜	<input checked="" type="checkbox"/> 大学卒業 (学士の学位) <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉学科 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉士 <input checked="" type="checkbox"/> 精神保健福祉士 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 教諭一種免許状 <input type="checkbox"/> 福祉心理学科 <input checked="" type="checkbox"/> 認定心理士 <input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input type="checkbox"/> 幼稚園教諭免許状 <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員 <input type="checkbox"/> その他	
家族状況	氏名 続柄 年齢 職業(勤務先)	誓約書欄に署名・捺印をいただいた保証人の氏名・住所等を記入してください。成人の方でも保証人は必要です。	
	福祉 和美 妻 36 福祉銀行		
	裕樹 子 3 無職		
	一郎 父 70 無職		
	陽子 母 68 無職		
誓約書	募集要項に記載された内容を了承し出願いたします。入学後は建学の精神に則り、学則および関連規定を遵守することを誓約いたします。 2015 年 1 月 5 日 氏名 福祉 三郎 (捺) 保証人 福祉 一郎 (捺)		

裏面も記載のうえ、「郵便振替払込受付証明書」を貼付してください。(注1)(注2)書き切れない場合、裏面に記載してください。

(裏面)

所持している資格	教職免許状 幼・小・ <input checked="" type="checkbox"/> (教科名 社会)・高 (教科名) 一種・ <input checked="" type="checkbox"/> 二種・専修	すでに所持している教職免許状と福祉関連の資格を○で囲んでください。
	福祉関連資格 保育士・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員	
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員初任者研修(ホームヘルパー2級)・社会福祉主事(任)・その他 ()	
保護者・保証人	フリガナ フクシ イチロウ	年齢 70 歳 続柄 父
	氏名 福祉 一郎	
	住所 〒 981-8522 電話 (022) 233-2211	
	宮城県仙台市青葉区国見1-8-1 国見荘101号	

ご出願にあたって

入学志願書A 記入上の注意

入学志願書B 記入上の注意

- ・黒インクまたは黒ボールペンを使用し、すべて本人自筆で記入してください（ワープロ不可）。
- ・裏面も忘れずご記入ください。

2015年度
東北福祉大学 通信教育部
入学志願書B

学籍 番号	※	受付 番号	※
----------	---	----------	---

※記入しないでください

氏名	福祉三郎	現住所	宮城 都道 府県	志望コース・学科 (志望するものに○をつける) 正科生 (1年次入学・2年次編入学・3年次編入学) 社会福祉学科 福祉心理学科 科目等履修生
----	------	-----	----------	---

問1	1 2 6	問1 (全員の方回答・必須) 入学の動機をお聞かせください (上位3つまで選択可です)。 1. 大学卒業資格取得 2. 資格・免許状取得 3. 職業上の知識・技術習得 4. 教養のため 5. 生涯学習・再学習のため 6. 福祉・心理などの学問にふれてみたい 7. 知名度、本学で学びたい 8. その他 ()
----	-------------	---

問1～問6までは、必ず記入してください。

問2	1	問2 (全員の方回答・必須) 現在の職業について、下記のコードから1つを選んでお聞かせください (文部科学省調査用データ)。 1. 福祉関連従事者 (保育士含む) 2. 看護師ほか医療関係従事者 3. 教員 4. 公務員 (1～3以外の公務員) 5. 会社 (商店) 員・銀行員等 6. 個人営業・自由業 7. 団体職員 8. パート・アルバイト 9. 学校職員 10. 住職・副住職 11. 自衛隊 12. 主婦 13. 学生 14. 無職 15. その他
----	---	--

問3	B	問3 (全員の方回答・必須) 現在の職業について、下記の職業区分から該当する記号を1つ記入してください (文部科学省調査用データ)。 職業区分 1 A. 公務員 B. 会社 (商店) 員 (社会福祉法人・医療法人・学校法人教職員を含む) C. 個人営業・自由業 D. 無職 E. その他
----	---	---

問4	4	問4 (全員の方回答・必須) 高等学校 (通信・定時制を含む) を卒業された年月で該当する番号を記入してください。高卒程度認定試験・大検に該当する方は、「5. その他」としてください。 1. 平成27年3月高校卒 (見込) 2. 平成26年3月高校卒 3. 平成25年3月高校卒 4. 平成24年3月以前高校卒 5. その他
----	---	--

問5	3	問5 (全員の方回答・必須) 卒業・資格取得の現時点での希望に関して、下記のなかから1つのみを選んでください。(注) 4, 5 を選択した方は、p.120～135の内容を了解したものとみなします。 1. 社会福祉学科卒業・任用資格取得を最優先に希望している。 2. 福祉心理学科卒業・認定心理士・任用資格取得を最優先に希望している。 3. 社会福祉士受験資格取得を最優先に希望している。 4. 【上記 (注) 参照】精神保健福祉士受験資格取得を最優先に希望している。 5. 【上記 (注) 参照】社会福祉士・精神保健福祉士受験資格の両方の取得を希望している。 7. 特別支援学校教諭一種免許状の取得を最優先に希望している。 9. 特別支援教育支援員基礎講座修了証明 (本学認定) を希望している。 10. 認定こども園法改正にともなう幼稚園教諭免許状・保育士取得特例の講座 (実務3年必要) の受講を希望している。 11. その他 ()
----	---	--

問5 必ず1つのみ選んでください。
【重要】4, 5 を選択した方は、p.120～135の内容を了解したものとみなします。

(裏面)

問6	2	問6 卒業・資格取得までの現時点での希望に関して、下記のなかから1つのみを選んでください。 1. 自分の目的に最低限必要な修業年限 (1年次入学者は4年、2年次編入学は3年、3年次編入学は2年、幼保特別講座受講者、および大卒者ですすでに免許保持者の特別支援学校免許取得は1年など) での卒業・資格取得を希望している。 2. 自分の目的に最低限必要な修業年限より長く在学してもよいと考えている。
----	---	--

社会福祉士 実習免除を希望する方は○を付けてください。

問7		問7 社会福祉士取得希望者で、下記に該当する方は○を付けてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 私は、募集要項p.108～115に記載された指定施設で相談援助の実務経験を1年以上有するので、社会福祉援助技術実習指導A・B・実習の免除を希望しています。免除された7単位は卒業単位数に含まれず、他の科目を履修することにより、卒業要件を満たさないと、社会福祉士国家試験受験資格を取得できないことを了解いたします。 <input type="checkbox"/> 私は、平成元年以降に福祉系大学を卒業しており、在学中に社会福祉士国家試験受験資格の取得ができる指定科目の単位修得をしているので、個別単位認定を希望しています。
----	--	---

個別単位認定を希望する方は○を付けてください。

●東北福祉大学 通信教育部の入学辞退者に対する授業料等の取扱いについて

本学通信教育部では入学許可された学生が初年度納入金を納入後、履修登録を行う前で、かつ4月生として入学する方が3月31日まで（ただし、入学許可が4月1日以降となる場合で、p.22の学費納入期限までに必着でも可）に、10月生として入学する方が9月30日まで（ただし、入学許可が10月1日以降となる場合で、p.23の学費納入期限までに必着でも可）に、入学辞退の意思表示を書面で行った場合は、初年度納入金のうち入学金3万円を除く授業料および施設設備資金の返還に依っています。

なお、初年度納入金を納入した後①4月生として入学する方が4月1日（またはp.22の学費納入期限）以後に、10月生として入学する方が10月1日（またはp.23の学費納入期限）以後に入学辞退の意思表示を行った場合、ならびに②上に定める期限以前でも履修登録用紙が本学に到着した場合については、初年度納入金の返金はいたしておりませんので、ご了承ください。

●東北福祉大学の個人情報保護に関する基本方針（抄）

東北福祉大学は、個人情報保護の重要性を深く認識し、以下の方針に基づき、個人情報保護法（平成15年法律第59号）を適正かつ確実に執行し、もって本学の保有する個人情報の保護に努めます。

1 個人情報の取得について

本学は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得します。

2 個人情報の利用および提供について

- (1) 本学は、個人情報の利用目的をできる限り特定し、機関誌やホームページ等で公表します。
- (2) 本学は、法令に基づく場合や事前に本人の同意を得た場合を除き、利用目的以外の目的のために個人情報を利用し、または第三者に提供することはしません。
- (3) 本学は、個人情報の取り扱いを業務委託する場合には、他に漏えいしないよう適正な監督を実施します。

3 個人情報の管理について

- (1) 本学は、個人情報の紛失、改ざんおよび漏えい等を防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適切なセキュリティ対策を講じます。
- (2) 本学は、個人情報の正確性を保ちます。

4 利用目的通知・開示・訂正・利用停止について

本学は、個人情報主体が自己の個人情報について、利用目的通知、開示、訂正および利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの請求がある場合には、迅速かつ適切に対応します。

5 組織・体制

- (1) 本学は、個人情報管理責任者と個人情報管理者を置き、教職員その他の事業者に対し、個人情報の適切な取り扱いに関し必要とされる教育、研修等を実施します。
- (2) 本学は、個人情報保護委員会を設け、個人情報の取り扱いに関する重要事項を審議し、また、開示等の請求に対する不服申立てについて適切に対応します。

6 本方針の実施・改善等

本学はこの方針を実施するための個人情報保護規程等を定め、教職員その他の従業者に周知徹底させます。また、改善すべき点があれば、今後とも適切に対応していきます。

7 個人情報の問い合わせ窓口

本学の個人情報の取り扱いについてご不明な点やご質問がありましたら、本学総務局総務課までご連絡ください。内容等により、当該情報を所管する管理者に接続させていただきます。

東北福祉大学総務局総務課 TEL 022-717-3311

●募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報は、大学案内・募集要項の送付や入学説明会のご案内以外の目的に利用することは一切ありません。

●出願時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

入学志願書等に記載された入学志願者や保証人の皆様の個人情報は、入学選考や入学許可証・副教材の発送、初年度納付金の請求など入学受付・許可業務に必要な範囲でのみ利用いたします。入学許可後初年度納付金を納入され学生になられた皆様やその保証人の皆様の個人情報は、入学後の大学からのお知らせや学籍・成績管理、学習支援・相談、進路支援・相談、学納金請求、学外実習実施、学割・証明書発行、学校行事参加時の緊急連絡など学生の教育と安全管理のために必要な範囲でのみ利用いたします。

初年度納付金などの学費請求、教材発送、TFUオンデマンドシステム運営、web上での履修状況閲覧システム運営にあたっては、一部の業務の外部委託を行っていますが、個人情報の管理については適正な監督を実施いたします。また、個人が特定できない統計的なデータとして、今後の本学の学生募集・教育活動の改善に利用させていただく場合があります。

正科生 1年次入学 募集要項

1 入学資格・必要書類

平成27年4月1日（4月入学）または10月1日（10月入学）現在、満18歳以上で下記のいずれかに該当する方

	入 学 資 格	入学資格を証明する書類
1	高等学校、中等教育学校を卒業した方、または平成27年3月卒業見込の方	・ 出身学校発行の卒業（見込）証明書または調査書（文部科学省指定の様式で出身学校長が捺印したもの）
2	文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験、または大学入学資格検定（大検）に合格した方、または合格見込であることが証明される方	・ 合格（見込）証明書 ・ 成績証明書（免除科目のある場合は、当該高等学校の単位修得証明書、または成績証明書を添付）
3	その他下記に該当する方 1) 高等専門学校（5年制）の3年次を修了した方 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の方 ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した方、または文部科学大臣がこれに準ずると指定した方 ② 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方 ③ 文部科学大臣の指定した方（専修学校の高等課程における修業年限3年以上の課程で文部科学大臣が指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方および修了見込の方、または国際的な評価団体の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した方）	・ 出身高等専門学校発行の調査書など入学資格を証明する書類（くわしくは事前に通信教育部へご相談ください）
4	本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方 ※個別入学資格審査を希望する方は、通信教育部まで事前にご相談ください。	・ 中学校卒業以後の学習歴を証明する書類（くわしくは事前に通信教育部へご相談ください）

2 1年次入学者の卒業要件

1年次入学者は、以下の要件を満たし、かつ124単位以上修得すれば卒業できます。4年以上在学し、スクーリング単位を30単位以上修得することも必要です。

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目	合計
社会福祉学科	18単位以上選択履修	16単位必修	90単位以上選択履修	124単位
福祉心理学科	18単位以上選択履修	18単位必修	選択必修科目より2単位以上、A群より34単位以上、B群より52単位以上選択履修	124単位

■卒業に必要なスクーリング単位 30単位以上

■修業年限 4年以上（最長在学年限10年 最長在学年限には休学期間〔最長休学年限4年〕を含み
ません）

- ・1年に12日間（たとえば3連休4回分）スクーリングに出席すれば、4年間で30単位のスクーリング単位は修得できます。
- ・スクーリングは、仙台以外に東京・札幌・盛岡・新潟などの各地で受講することができます。
- ・自宅のパソコンで受講できるオンデマンド・スクーリングも40科目について実施予定です。

正科生 2年次編入学 募集要項

1 2年次編入学資格・必要書類

	編入学資格	入学資格を証明する書類
1	大学・短期大学に1年以上在学し卒業要件単位を30単位以上修得した方	大学・短期大学を中途退学の方は出身学校発行の ①「在籍期間証明書」（または在籍期間を記入した「退学証明書」） ②「単位修得証明書」
2	国立高等専門学校（国立工業専門学校等）の4年次を修了した方	

※①②両方必要です。

2 2年次編入学者の単位認定と卒業要件

既修得単位について30単位を一括認定します。認定する30単位は、共通基礎科目18単位、専門選択科目（B群）12単位に読み替えますので、編入学後、卒業に必要な単位数や要件は下記のとおりとなります。

	専門必修科目	専門選択科目	合計
社会福祉学科	16単位必修	78単位以上選択履修	94単位
福祉心理学科	18単位必修	選択必修科目より2単位以上・A群34単位以上・B群40単位以上選択履修	94単位

■卒業に必要なスクーリング単位 22単位以上

■修業年限 3年以上（最長在学年限9年 最長在学年限には休学期間〔最長休学年限4年〕を含み
ません）

正科生 3年次編入学 募集要項

1 3年次編入学資格・必要書類

	編入学資格	入学資格を証明する書類
1	大学・短期大学・高等専門学校（5年制）を卒業した方	①卒業証明書 ②成績証明書（または単位修得証明書） ※①②両方必要です。 ③（福祉系大学卒業者で個別単位認定を希望する方のみ）指定科目履修・卒業証明書（くわしくはp.118～119をよくお読みください）
2	専門学校（専修学校専門課程）卒業者で専門士の称号を有する方、または修業年限が2年以上で総授業時間数が1,700時間以上の専修学校専門課程を修了した方（注）	①卒業証明書（別冊「専修学校専門課程 修了（卒業）証明書」（様式4）が望ましいが、出身学校発行の書式でも「 <u>専門士</u> 」の称号を有することが明記されている場合は可） ②成績証明書（修得科目および成績の記載されたもの） ※①②両方必要です。
3	大学に2年以上在学中途退学した方で、卒業要件単位を62単位以上修得している方	①在籍期間証明書（または在籍期間を記入した「退学証明書」）、および②成績証明書 ※①②両方必要です。
4	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されている方	・大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書
5	旧制専門学校、師範専門学校、青年師範学校等を卒業した方	・入学資格を証明する書類

（注） 専門学校を修了した方で、3年次編入学資格を有するのは、下記の3点を満たす場合です。ご出身の専門学校（閉校になっている場合は都道府県の管轄庁）から、別冊の様式4「専修学校専門課程 修了（卒業）証明書」を発行いただける場合には、原則として3年次編入学が可能です。

- (1) 修業年限が2年以上、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上で、試験などにより成績評価を行っている課程を修了していること。
- (2) 修了した専修学校の課程が、学校教育法に定める「専修学校専門課程」の設置認可を受けていること（上記の者が修了した専修学校の課程が現時点で閉校になっている場合は、かつて「専修学校専門課程」の設置認可を受けていたことが明記されていること）。
- (3) 高等学校を卒業しているなど大学入学資格（学校教育法第90条に規定されているもの）を有すること。

※編入学の場合は、卒業見込では出願できません。卒業や修了が確定後、次頁記載の必要書類を同封のうえ、ご出願ください。

2 3年次編入学者の単位認定と卒業要件

既修得単位について62単位を一括認定します。認定する62単位は、共通基礎科目18単位、専門選択科目

(B群) 44単位に読み替えますので、編入学後、卒業に必要な単位数や要件は下記のとおりとなります。

なお、社会福祉士・精神保健福祉士受験資格取得のための指定科目に対する個別単位認定については、p.118~119をご覧ください。

	専門必修科目	専門選択科目	合計
社会福祉学科	16単位必修	46単位以上選択履修	62単位
福祉心理学科	18単位必修	選択必修科目2単位以上・A群34単位以上・B群8単位以上選択履修	62単位

・上記の卒業要件単位数(62単位)に、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の個別認定単位数を含めることができます。

・上記の卒業要件単位数(62単位)に、①実務経験により履修免除された実習科目単位数(7単位、p.96~97参照)、および②一括認定単位数(62単位)を含めることはできません。

■卒業に必要なスクーリング単位 15単位以上

■修業年限 2年以上(最長在学年限8年、最長在学年限には休学期間[最長休学年限4年]を含みません)

- ・1年に12日間(たとえば3連休4回分)スクーリングに出席すれば、2年間で15単位のスクーリング単位は修得できます。
- ・スクーリングは、仙台以外に東京・札幌・盛岡・新潟などの各地で受講することができます。
- ・自宅のパソコンで受講できるオンデマンド・スクーリングも40科目について実施予定です。

3 編入学にあたっての注意事項

1) 3年次編入学者が、入学1年めに授業料の範囲内で履修登録できるのは40単位までです。1年めに41単位以上履修登録をすると、超過履修費(1単位5,000円)の納入が必要です。また、3年次編入学者が卒業までに授業料の範囲内で履修登録できるのは80単位までです。

たとえば、3年次編入学で社会福祉士・認定心理士を両方取得する方は、最低でも96単位の修得が必要になるため、既定の学費・実習費以外に超過履修費16単位分80,000円が別途必要になります。

社会福祉士・精神保健福祉士を両方取得する方も超過履修費が必ず必要になります(両方実習受講が必要な場合合計最低98単位=超過18単位=超過履修費90,000円)。

2) 社会福祉士国家試験受験資格を希望される方は、「社会福祉援助技術演習A・B・C」「社会福祉援助技術実習」の受講申込みまでに、一定以上の科目の単位修得が必要になります。そのため順序よく学習を進めないと3年次編入学後2年間では卒業できないことがありますので、ご了承ください。くわしくは、p.96~105をご覧ください。

3) 精神保健福祉士受験資格取得を希望される方への留意事項は、p.120~121をご覧ください。

4) 福祉心理学科で「卒業研究」(卒業のための必修科目ではありません)の受講を希望される方は、3年次編入学後2年間で卒業することは非常に困難です。卒業研究の受講には前年度までに「心理学実験I・II」「心理学研究法I・II」の4科目を含む心理学関連14科目以上の単位修得(S科目は含まれない)、および「統計情報を見る眼」の単位修得が必要で、「心理学研究法II」のスクーリング受講申込みまでに心理学関連で7科目のレポート提出が求められるなどの条件があるためです。

科目等履修生 募集要項

1 在籍資格

- ・平成27年4月1日（4月入学）または10月1日（10月入学）現在で、高等学校卒業、または高等学校卒業と同等以上の学力を有すると認められる満18歳以上の方。
- ・外国人の方、身体に障害を有する方で入学後に特別な配慮を希望する場合は事前にご相談ください。

2 科目等履修生の学費

- 入学選考料** 10,000円 —— 出願時に本学指定の払込用紙を使用し、**郵便局（ゆうちょ銀行）**より納入してください（くわしくはp.26, 31を参照してください）。

※幼保特例講座のみの科目を受講希望で科目等履修生として出願する方は、入学選考料10,000円は免除いたします。

- 入学金** 30,000円 —— 入学許可通知が届き次第**コンビニエンス・ストア**より納入
 - 授業料** 1単位6,000円 —— してください（くわしくはp.26を参照）。
- （1科目あたり：2単位科目 12,000円 4単位科目 24,000円となります）

※科目等履修生の方が履修登録をした科目については、1年以内（次項3も参照）に単位を修得することが必要になります。次年度に同一科目を継続することも可能ですが、あらためて授業料（1単位：6,000円）の納入が必要となります。

※翌年度に別の科目を履修することも可能です。登録単位数分の授業料は毎年度必要ですが、平成29年度までは入学選考手続や入学金の納入は不要です。

※入学後3年経過した平成30年度以降の継続については更新手続が必要で、更新料30,000円が必要になります。

その他、入学後の諸経費は、下記のとおりです。

- スクーリング受講料** 1単位5,000円（ただし特講科目等のS科目は1単位7,000円、演習・事前指導・実技・実験科目は1単位10,000円）
- 実習費**（実習科目を履修する際に必要になります／実習保険料を含みます）
 - 社会福祉援助技術実習 110,000円（巡回指導1回・帰校指導3回の場合）
 - 障害者教育実習 30,000円

3 ご留意いただきたい点

- 1) 科目等履修生には、下表のとおりレポート提出期限、科目修了試験受験・スクーリング受講期限が定められています。

4月生	翌年2月末まで（3月のレポート提出はできません。ただし科目修了試験受験・スクーリング受講は3/10までは可）
10月生	翌年8月末まで（9月のレポート提出はできません。ただし科目修了試験受験・スクーリング受講は9/10までは可）

- 2) 履修方法「S」「SR」の科目を単位修得するためには、上記の表の受講期限内にスクーリング受講が必須となり、スクーリング受講料が別途必要になります。

- 3) 科目等履修生に対するレポート用紙（表紙）の無料交付数は、原則として入学時の履修単位数÷2となります。それ以上必要な場合は実費購入（パソコン用1冊30円、手書き用1冊80円）となります。
- 4) 科目等履修生に対する「既修得単位の認定」「学割証の発行」「奨学金の貸与・授与」はできません。

4 出願書類一覧

幼保特例講座受講者はp.40～51もご確認ください。

必要書類名	留意事項	チェック欄
1 入学志願書A	同封様式集の様式1を使用し、p.27, 29を参考に記入。	<input type="checkbox"/>
2 入学志願書B	p.30の記入上の注意を参考に、必ず様式2に記載の上ご提出ください。	<input type="checkbox"/>
3 振替払込受付証明書	入学選考料10,000円を郵便局（ゆうちょ銀行）で納入した際に受領したもの。くわしくはp.27参照。※幼保特例講座のみの履修者は不要です。	<input type="checkbox"/>
4 写真1枚	くわしくはp.27参照。	<input type="checkbox"/>
5 志望理由書	同封様式集の様式3を使用。くわしくはp.27参照。	<input type="checkbox"/>
6 卒業証明書などの証明書類	①高等学校・専修学校専門課程卒業生→高等学校の卒業証明書 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者→合格証明書 ③大学・短期大学卒業生→大学・短期大学の卒業証明書および成績証明書 ④大学・短期大学中退者→大学・短期大学の在籍期間証明書および成績証明書 ※本学通信教育部に在籍したことのある方は上記①～④は不要	卒業証明書 <input type="checkbox"/> 成績証明書 <input type="checkbox"/>
7 履修希望科目登録用紙（本要項同封別冊）	入学許可後の履修科目変更はできませんので、慎重に選択してください。「履修希望科目登録用紙」記載の注意事項もよくお読みください。 (1) 下記(2)～(6)にあてはまらない方 →様式5～6の履修希望の科目に○を付けてご返送ください。 (2) 幼稚園教諭免許状・保育士資格取得特例講座受講希望者（p.40～49参照） →様式7「履修希望科目登録用紙（幼所持・保希望）」または様式8「履修希望科目登録用紙（保所持・幼希望）」に、必要事項を記入・提出ください。 (3) すでにいずれかの教職免許を所持している方が特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合 →様式6「履修希望科目登録用紙 実1」に記入・提出ください。 (4) 「特別支援教育支援員基礎講座修了証明」（本学認定）希望者 →様式6「履修希望科目登録用紙 実2」に記入・提出ください。 (5) 本学卒業生で「社会福祉援助技術実習」受講希望者 →様式5「履修希望科目登録用紙（2/2）」に記入・提出ください。 (6) 「履修証明プログラム」を科目等履修生で受講希望の方 →本冊子巻末の様式16「履修証明プログラム 履修希望科目登録用紙」に記入・提出ください。	<input type="checkbox"/>
8 戸籍抄本	証明書と現在の氏名が異なる方のみ。くわしくはp.27参照。	<input type="checkbox"/>
9 (幼保特例講座受講者のみ)	所持している保育士証または幼稚園教諭免許状のコピーを必ず同封してください。	保育士証or 幼免許状写 <input type="checkbox"/>

※本学通信教育部在籍者・卒業生が「科目等履修生」として再入学する場合の出願書類はp.28「1.出願書類」をご覧ください。

※「出願にあたってのご注意」は、p.23をご覧ください。

5 入学手続

- ・出願書類到着後、書類選考を行います。選考の結果、入学を許可された方には、「入学許可証」と履修登録科目の単位数にもとづく「学費振込依頼書」を送付いたします。指定された期日内にコンビニエンス・ストアより納入してください。いったん納入された学費は返金できません。

6 履修可能科目一覧

- ・平成27年度入学時に履修が可能な科目は、同封別冊・出願書類様式集の「科目等履修生志願者 履修希望科目登録用紙」、または巻末の「履修証明プログラム 科目等履修生 履修希望科目登録用紙」に記載されている科目です。
- ・平成26年度に開講している科目の概要は通信教育部ホームページ (<http://www.tfu.ac.jp/tushin>) の「レポート課題一覧」からご覧になることができます。
- ・6月・11月・2月に「追加履修登録」を行うことができます（ただし登録事務手数料1,000円が必要です。また、追加した科目のレポート用紙の無料交付はありません）。
- ・1年間で登録できる単位数は原則として40単位以内で、最大でも60単位以内です。
- ・「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「産業カウンセリングⅠ・Ⅱ」「特講科目」など履修方法が「SR」「S」（スクーリング必修）科目は、入学後に追加履修を行う形でのみ履修が可能です。入学時には、巻末の「履修希望科目登録用紙」に記載の科目を1科目以上履修登録していただく必要があります。
※ただし、本学通信教育部卒業者は別途ご相談ください。
- ・「障害者教育実習」を科目等履修生が受講する場合は、条件があります。次項7に記載された留意点をお読みください。
- ・「社会福祉援助技術演習B・C」「精神保健福祉援助演習B・C」「精神保健福祉援助実習」「卒業研究」は、科目等履修生では受講できません。

7 科目等履修生で「障害者教育実習」を受講する場合

- ・「障害者教育実習」を科目等履修生で受講する場合は、下記の点にご注意ください。
 - (1) 本学で「障害者教育総論」「知的障害教育」「障害者教育実習の事前事後指導」を含めて18単位以上（実習科目を含めて可）の履修登録が必要です。他大学の単位と合わせて免許申請をされる方はご注意ください。ただし、本学の卒業生（通学課程・通信教育課程とも）はこの限りではありません。
 - (2) 実習や実習事前指導科目は、実習事前指導のスクーリング申込締切日などまでに、指定された科目の単位修得やレポート提出など受講条件を達成していないと受講できません（p.76～78参照）。
 - (3) 実習の受講にあたっては、入学時にお支払いいただく授業料以外に、p.36に記載の実習費、実習事前指導のスクーリング受講料が必要です。

8 科目等履修生で「社会福祉援助技術実習」を受講する場合

p.28をお読みください。本学卒業者のみが対象です。

9 幼稚園免許状・保育士資格取得特例の講座受講希望者

p.40~51をよくお読みいただき、ご出願ください。

Q6 科目等履修生として入学する方はどのような方がいらっしゃいますか。

A. 科目等履修生として入学するのは、一部の科目のみを選んで学習する方ですが、目的によって下記の5つのパターンに大きく分かります。

- (1) 自分の関心にそって特定の科目を学びたい方。
- (2) 認定こども園法改正にともない実務経験を有していて幼稚園教諭免許状・保育士資格取得特例の科目（8単位）を受講する方（p.40~49参照）。
- (3) 正科生として入学する前に試しに一部の科目を履修する方（たとえば福祉心理学科入学希望の方でしたら「心理学概論」「福祉心理学」「教育心理学」などから選択、社会福祉士取得希望の方でしたら「高齢者福祉論」「児童・家庭福祉論」「社会福祉援助技術総論」などから選択してください。単位修得した科目は正科生としての再入学後卒業に必要な単位として認定されます）。
※平成27年度10月入学希望者は、入学時は科目等履修生で入学し、平成28年4月に正科生へ再入学することもお奨めしております（4月にあらためて入学選考料がかかりますが、入学金は免除です。社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ができる年度は同じです）。
- (4) すでに大学卒業の方で特別支援学校教諭一種免許状や認定心理士など資格・免許状に必要な科目を1年に20単位未満で修得しようとする方（1年に20単位以上履修するならば正科生として入学した方が格安です）。
- (5) すでに他の指定科目を履修し東北福祉大学（通学または通信）を卒業の方で、社会福祉士国家試験受験資格取得のために「社会福祉援助技術実習指導A・B・実習」を履修する方（p.28参照）。
- (6) 「特別支援教育支援員基礎講座」や「履修証明プログラム」（「カウンセリングの基礎を学ぶコース」「福祉実践職（高齢者分野）基礎力養成コース」「福祉実践職（障害者分野）基礎力養成コース」p.89~92参照）修了証明を希望する方（ただし1年で取得する場合は「正科生」としての入学の方が格安の場合があります）。

なお、履修方法が「S」「SR」の科目は、単位修得にあたってスクーリングへの出席が必須となりますが、その科目は入学後に追加履修登録（6月・11月）をする形で履修が可能です。そのため、上記(1)の自分の関心にそって特定の科目を学ぶ方はたとえば下記のようなこともお奨めします。

- ① **発達障害に関心がある方**→「発達障害者の心理」などを履修登録して入学し、「発達障害者の地域支援」などのS科目や「発達障害教育総論」「障害児の心理」「障害者福祉論」などは追加履修登録で履修してください。
- ② **カウンセリングに関心がある方**→「カウンセリングⅠ」（スクーリング必修科目ですが履修登録可）や「心理アセスメント」「臨床心理学」などを履修登録して入学し、「カウンセリングⅡ」「カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ」などのS科目などは追加履修登録で履修してください。



幼稚園教諭免許状・保育士資格取得希望で実務経験3年以上有する方向けの特例講座（幼保特例講座）のご案内

認定こども園法改正にともなう「幼保連携型認定こども園」の創設にともない、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許・資格を有していることが必要な「保育教諭」の必要性が高まっています。

本特例講座は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれか一方のみを所持して3年以上の実務経験を有する方が、8単位と大幅に軽減された単位数で所持していない免許状・資格の取得が可能になっているものです（文部科学省・厚生労働省の法令による平成31年度末までの特例措置）。

- (1) 幼稚園教諭免許状・保育士資格のいずれか一方しか所持していない方で、
- (2) 下記2-1. またはp.42 3-1. の園・施設で**3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有する方が**（過去の実務経験でも可）、
- (3) 本学通信教育部科目等履修生（または正科生）として、p.41 2-2. またはp.43 3-2. の科目（各8単位）を単位修得し、
- (4) その後、自身で申請を行うことによって、

所持していない幼稚園教諭免許状または保育士資格が取得可能となる特例制度です。

※本特例で8単位修得する方は「保育士試験」の受験の必要はありません（受験申請は必要となりますが、全科目免除により合格となります）。

1 推奨する入学方法

「科目等履修生」として入学（ただし正科生1～3年次入学でも可。p.48参照）。

※科目等履修生としての学習期間は4月生3/10まで、10月生9/10までとなります。その他、科目等履修生のルールはp.36～37でご確認ください。

※幼保特例講座のみの科目を受講希望で科目等履修生として出願する方は、入学選考料10,000円は免除いたします。

※科目等履修生として出願する方は、入学時は、幼保特例講座以外の科目を履修することはできません。入学後は、ご希望があれば追加履修登録などにより、他の科目を履修することは可能です。

2 幼稚園教諭免許状を所持している方が保育士資格を取得する場合

1. 必要な実務経験 下記の園・施設で幼稚園教諭免許状取得後、3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有すること

- (1) 幼稚園、または特別支援学校幼稚部
- (2) 認定こども園
- (3) 保育所（児童福祉法39条1項に規定する保育所）、またはへき地保育所（法令で規定されたもの）
- (4) 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けた認可外保育施設
- (5) 幼稚園併設型認可外保育施設（児童福祉法施行規則49条の2第4号に規定する保育所）
（詳細は平成25年8月8日雇児発0808第2号による）

（注1） 実務経験期間のすべてが上記にあてはまる必要があります。過去の実務経験でも可能です。

（注2） 3年以上と4,320時間以上の両方を満たす必要があることにもご注意ください。1日6時間勤務（休憩時間

除く) ×年間勤務日数240日(週5日勤務) ×3年間で4,320時間となります。なお、事務職員や管理職としての勤務期間は実務経験の期間に含められません。

(注3) 実務経験取得見込でも平成31年度末までに実務経験を満たす見込みならば出願はできますが、出願時点で満たす見込みのある勤務先・就職内定先の園・施設がない場合は出願できません。

(注4) 認可外保育施設は、認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けていても、下記の施設は除かれます。

①利用する子どもの半数以上が一時預かり、または

②利用する子どもの半数以上が22時～翌日7時までの全部または一部の利用

(注5) 現職ではないため免許状更新講習を受講する義務のない幼稚園教諭免許状所持者も、この幼保特例講座を受講することは可能です。なお、幼稚園教諭として教壇に立つためには必要な期限までに免許状更新講習の受講が必要です。

2. 本学で単位修得すべき科目(8単位)と科目等履修生として1年間で単位修得した場合の学費

科目名	単位数	履修方法(p.3参照)	授業料・入学諸経費
福祉と養護	2	R	12,000円
相談支援	2	R or SR(注10)	12,000円(注11)
保健と食と栄養	2	R	12,000円
乳児保育(注6)	2	SR	22,000円(注7)
入学金(注8)			30,000円
合計	8		88,000円(注9)

(注6) 「乳児保育」は履修方法SR(p.3参照)科目のため、本学に来校してのスクーリング受講が必須です。「乳児保育」スクーリングは仙台でのみ開講予定で2日間連続8コマの講義の受講が必要です(開講予定 平成27年8月10・11日、または12月12・13日のいずれか1回2日間を受講すれば可。10月生は12月12・13日か平成28年8月の受講が可能です。8月の日程は未定です。ただし、受講希望者が多い場合は別途日程になることがあります。)

(注7) スクーリング受講料10,000円を含む。受講料はスクーリング申込み後に納入が必要になります。

(注8) 幼保特例講座のみの科目を受講希望で科目等履修生として出願する方は、入学金30,000円は必要ですが、通常の通信教育部への出願者が必要な入学選考料10,000円は不要です。

(注9) 特例科目のレポートを4科目とも「TFUオンデマンド」=web上で解答した場合は、修了時(学生証返却時)に10,000円を返金いたします。「TFUオンデマンド」の利用方法は入学後の『学習の手引き』でご案内いたしますが、通常のパソコン操作ができインターネットに接続可能ならば利用は可能です。3科目以下の履修や、1科目でも郵送でレポートを提出した場合や、特例科目以外の科目を履修する場合は、この特例は適用になりません。

(注10) 「相談支援」=R or SR。履修方法：R=「レポート+科目修了試験」か、履修方法：SR=「スクーリング受講+レポート」のいずれでも単位修得が可能です(平成27年度は自宅のパソコンで動画を視聴するオンデマンド・スクーリング、および8月8・9日に2日間のスクーリングを開講予定)。

(注11) スクーリングを受講する場合は、別途受講料5,000円が必要となります。

3. 履修上の特例について

以下の案内は、幼稚園教諭免許状・保育士資格両方を取得できる出身校の方、保育士試験合格科目がある方のみが関係します。

(1) p.42の対応表を参照し、すでに特例8単位に相当する科目を、すべて単位修得している場合または保育士試験に合格している場合は、本学での特例講座の受講は必要ありません。

※出身校(指定保育士養成施設)から「特例用専修証明書」を取り寄せ、保育士養成協議会・保育士試験事務センターにお問い合わせください。

(2) 下記対応表を参照し、すでに**特例8単位の一部に該当する科目を単位修得している方**は、一部の科目は本学で履修しなくてもよい可能性があります。該当者で履修すべき科目が不明の場合は、出身校(指定保育士養成施設)から「特例用専修証明書」を取り寄せたうえで出願前にご相談ください。

(3) すでに**保育士試験合格済みの科目がある方**は、一部の科目は本学で履修しなくてもよい可能性があります。該当者で履修すべき科目が不明の場合は、「保育士試験一部科目合格通知書」をご用意いただき、出願前にご相談ください。

※保育士試験合格科目の有効期間は、受験した年度を含め3年間です。平成26年度保育士試験の合格科目は、平成28年度保育士試験まで有効のため、遅くとも平成28年度4月生として入学し、9月までに単位修得して10月の保育士試験受験申請をする必要があります。

(4) (2)(3)どちらの場合でも、①「専修証明書」または「合格通知書」を直接大学に持参していただくか、②「専修証明書」または「合格通知書」に、履修免除科目確認希望の旨と連絡先を記載した書面を同封のうえで郵送していただくかの、いずれかの方法でご相談いただくことが可能です。

保育士試験免除科目、特例教科目、通常の養成課程の教科目の対応 特例教科目と
通常養成課程の教科目の対応

試験免除科目		出身の通常の養成課程での告示に定める教科目		特例教科目		特例教科目	通常の養成課程の教科目
1	社会福祉	①	社会福祉	A	福祉と養護	福祉と養護	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護
2	児童家庭福祉	②	児童家庭福祉	A	福祉と養護		
		③	家庭支援論	B	相談支援		
3	子どもの保健	④	子どもの保健Ⅰ	C	保健と食と栄養	相談支援	家庭支援論 保育相談支援
4	子どもの食と栄養	⑤	子どもの食と栄養				
5	保育原理	⑥	乳児保育	D	乳児保育	保健と食と栄養	子どもの保健Ⅰ 子どもの食と栄養
		⑦	保育相談支援	B	相談支援		
6	社会的養護	⑧	社会的養護	A	福祉と養護	乳児保育	乳児保育

(注：次に該当する場合、1～6の各科目が試験免除となる)

- 1：A又は① 2：A+B, A+③, B+②又は②+③ 3：C又は④
4：C又は⑤ 5：B+D, B+⑥, D+⑦又は⑥+⑦ 6：A又は⑧

3 保育士資格を所持している方が幼稚園教諭免許状を取得する場合

※高等学校または文部科学大臣が指定した専修学校高等課程を卒業していること、または高等学校卒業程度認定試験に合格していることが必要となります。

1. 必要な実務経験 下記の施設で保育士資格取得後、保育士として3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有すること

- (1) 保育所（児童福祉法39条1項に規定する保育所）、またはへき地保育所（法令で規定されたもの）
- (2) 認定こども園
- (3) 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けた認可外保育施設
- (4) 幼稚園併設型認可外保育施設（児童福祉法施行規則49条の2第4号に規定する保育所）
（詳細は平成25年8月8日雇児発0808第2号による）
- (5) 幼稚園において、もっぱら幼児の保育に従事する職員（預かり保育を担当する職員や学級担任の補助職員等）

（注1） 実務経験期間のすべてが上記にあてはまる必要があります。過去の実務経験でも可能です。p.2（注2）（注3）もご注意ください。

（注2） 認可外保育施設は、認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けていても、下記の施設は除かれます。

- ①利用する子どもの半数以上が一時預かり、または
- ②利用する子どもの半数以上が22時～翌日7時までの全部または一部の利用

2. 本学で単位修得すべき科目（8単位）と科目等履修生として1年間で単位修得した場合の学費

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目名	単位数	履修方法(注3) (p.3参照)	授業料・入学諸経費
教職の意義等に関する科目	教職論(特例)	2	R	12,000円
教育の基礎理論に関する科目	教育社会学(特例)	2	R	12,000円
教育課程及び指導法に関する科目	初等教育課程の意義と編成	1	R(注6)	6,000円
	教育方法論(保育内容研究を含む)	2	R	12,000円
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解と保育相談	1	R(注6)	6,000円
入学金(注4)				30,000円
合計		8		78,000円(注5)

(注3) スクーリング受講は必要ありません。平成27年度はスクーリング開講の予定はありません。

(注4) 幼保特例講座のみの科目を受講希望で科目等履修生として出願する方は、入学金30,000円は必要ですが、通常の通信教育部への出願者が必要な入学選考料10,000円は不要です。

(注5) 特例科目のレポートを5科目とも「TFUオンデマンド」=web上で解答した場合は、修了時(学生証返却時)に10,000円を返金いたします。「TFUオンデマンド」の利用方法は入学後の『学習の手引き』でご案内いたしますが、通常のパソコン操作ができインターネットに接続可能ならば利用は可能です。4科目以下の履修や、1科目でも郵送でレポートを提出した場合や、特例科目以外の科目を履修する場合は、この特例は適用になりません。

(注6) 「初等教育課程の意義と編成」「幼児理解と保育相談」は会場試験だけでなく、在宅web科目修了試験(p.56参照)を利用しての受験も可能です。

3. 履修上の特例について

以下の案内は、幼稚園教諭免許状・保育士資格両方を取得できる出身校の方のみが関係します。

- 文部科学省から幼稚園教諭免許状が取得できる「課程認定」を受けている出身校で、すでに特例8単位に相当する科目をすべて単位修得している方は、本学での特例講座の受講は必要ありません。
※出身校から特例様式の「学力に関する証明書」を取り寄せ、都道府県教育委員会に申請してください。
- すでに出身校で**特例8単位の一部の科目を単位修得している方**は、一部の科目は本学で履修しなくてもよい可能性があります。該当者で履修すべき科目が不明の場合は、出願前に出身校から幼稚園教諭免許状申請用の「学力に関する証明書」(特例様式のものがのぞましい)を取り寄せ、①直接大学に持参していただくか、②証明書に、履修免除科目確認希望の旨と連絡先を記載した書面を同封のうえで郵送していただくかの、いずれかの方法でご相談ください。

※小・中・高免許状用の「教職論」などは原則として使用できません。

- (1)(2)いずれの場合も、以前のカリキュラムで取得した方は現行のカリキュラムにのっとった幼稚園教諭免許状申請用の「学力に関する証明書」を出身校で発行いただくことが必要になります。

4 出願にあたってのご注意

- 科目等履修生には学習期限があり、レポート提出=4月生:4月1日~翌年2月末,10月生:10月1日~翌年8月末,科目修了試験=4月生:3月10日まで,10月生:9月10日までに開催される試験を受験可能です(10月生は第4回在宅web科目修了試験は受験できません)。
- 1年間で単位修得できなかった科目は、2年目も継続して学習することが可能ですが、2年目に履修登録する科目の単位数×6,000円の授業料があらためて必要となります。なお、1年目の成績

(レポートのみ合格など)は、2年目も継続されます。

- (3) 出願時点では実務経験が3年以上かつ4,320時間以上なくても、見込みで特例講座を受講可能ですが、免許状・資格申請までに満たす必要があります。また、**出願時点では実務経験の証明は必要ありません。**

※特例講座を受講した後、**実務経験の不足などにより免許状・資格申請が受理されなくても、本学ではその責を負えません。**勤務先が実務経験に認められるか、時間数が足りているか不明な方は、必ずご自身で勤務先や教育委員会または保育士試験センターにご確認ください。

- (4) 本学での単位修得後は、ご自身で免許状・資格を申請していただく必要があります (p.20参照)。申請方法や申請可能な時期は、申請先のホームページなどでご確認ください。

5 出願書類一覧

所持している保育士証または幼稚園教諭免許状のコピーを必ず同封してください。

必要書類名	留意事項	チェック欄
1 入学志願書A	(1) 同封の入学志願書を使用し、「入学志願書A記入上の注意」(p.29を参照)熟読のうえ本人自筆で(ワープロ・パソコン不可)正確に記入してください。黒インクまたは黒ボールペンを使用し、楷書ではっきり記入してください(鉛筆書き不可)。裏面の保護者・保証人欄なども必ず記入してください。 (2) 保証人は本人の在学中の一切の義務と責任を引き受けてくれる成人(親族が望ましい)に依頼してください。保証人の方の収入の有無は問いません。	<input type="checkbox"/>
2 入学志願書B	文部科学省など関係機関への統計調査および入学後の学習支援のために、現在のご職業や履修・資格取得に関するご希望などをお伺いしています。p.30の「入学志願書B記入上の注意」を参考に、必ず記載の上ご提出ください。	<input type="checkbox"/>
3 写真1枚	(1) 出願日前3カ月以内に撮影した写真1枚(タテ4cm×ヨコ3cm/カラー・白黒どちらでも可)。正面・上半身・無帽・背景なしのものを、入学志願書Aの所定の欄に貼付してください。 (2) 裏面には氏名・幼保特例講座受講希望であることを記入したうえで貼付してください。 (3) 不鮮明な写真(上記条件を満たさないものやスナップ写真など)は不可です。	<input type="checkbox"/>
4 志望理由書	同封の志望理由書に自筆で400字以上1,000字以内で記入してください(鉛筆書き可)。	<input type="checkbox"/>
5 卒業証明書などの証明書類	①高等学校・専修学校専門課程卒業者→高等学校の卒業証明書 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者→合格証明書 ③大学・短期大学卒業者→大学・短期大学の卒業証明書および成績証明書 ④大学・短期大学中退者→大学・短期大学の在籍期間証明書および成績証明書 ※証明書は出身校からお取り寄せください。(厳封でなくても可) ※本学通信教育部に在籍したことのある方は上記①~④は不要	卒業証明書 <input type="checkbox"/> 成績証明書 <input type="checkbox"/>
6 所持している保育士証または幼稚園教諭免許状のコピーを必ず同封してください(全員必須)		保育士証or 幼免許状写 <input type="checkbox"/>
7 履修希望科目登録用紙兼実務経験申告書(本要項同封別冊)	入学許可後の履修科目変更はできませんので、慎重に選択してください。「履修希望科目登録用紙」記載の注意事項もよくお読みください。 (1) 保育士資格取得希望者 →様式7「履修希望科目登録用紙 兼 実務経験申告書(幼稚園教諭免許状所持・保育士資格希望)B」に、必要事項を記入・提出ください。 (2) 幼稚園教諭免許状取得希望者 →様式8「履修希望科目登録用紙 兼 実務経験申告書(保育士資格所持・幼稚園教諭免許状希望)C」に、必要事項を記入・提出ください。	<input type="checkbox"/>
8 戸籍抄本	証明書類と現在の氏名が異なる方のみ。氏名の変更内容が確認できるようにするためのもの。	<input type="checkbox"/>

6 「幼稚園教諭免許状を所持して保育士資格を希望する方の履修希望科目登録用紙(様式7)」記入上の注意

黒インクまたは黒ボールペンを使用し、すべて本人自筆で記入してください。

1年間で8単位取得希望の方は、すべてに○をお付けください。ただし、履修した科目が1年間で取得できないと翌年度も授業料が必要になりますので、ご注意ください。

単位数、合計金額、科目数をご記入ください。

確認のため、幼稚園教諭免許状のコピーを同封したうえで、皆様○をお付けください。

現時点での実務経験3年以上かつ4,320時間以上の有無についてお書きください。なお、実務経験に関する証明書の大学への提出は不要ですが、下欄に実務経験をご記入ください。

幼保特例講座による免許状・資格取得に必要な実務経験3年以上かつ4,320時間以上を申請時に満たす見込みの方は、こちらに○を付け、下欄にこれまでの実務経験や今後実務経験を有する見込みの勤務先をご記入ください。なお、現時点で必要な実務経験を満たす見込みのない方(採用などが決まっていない方)は、本幼保特例講座の受講はできません。

実務経験について、勤務先幼稚園・施設名を記入し、該当する種別に○をお付けください。また、施設ごとの勤務期間と勤務期間中の平均勤務時間などもご記入ください。

本幼保特例講座の科目を修得するために、在籍する予定年数に○をお付けください。なお、入学後に変更しても構いません。

あてはまる方は○をお付けください。10月生は記入不要です。

様式7・科目等履修生のみ

2015年度 履修希望科目登録用紙 兼 実務経験申告書
(幼稚園教諭免許状所持・保育士資格希望) 保

氏名 福祉 愛子

学籍番号	※
受付番号	※

※記入しないでください

私は幼稚園教諭免許状を所持し、下記の期間で3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有し(見込を含む)、保育士資格取得を希望しているため、入学年度は下記に記載した特例科目の履修を希望します。なお、本特例講座を利用して資格を登録申請する際に、法令で定められた実務経験を有さないなどの理由により、資格が取得できなくても大学は責任を負えないことを了解いたします。

【ご注意】

- 1年間で取得できる予定の科目のみに○をお付けください。入学許可後の履修科目変更はできません。
- 年度途中で追加履修登録も可能です(別途手数料1,000円必要)。
- 履修した科目は4月生の場合は翌年3月10日、10月生の場合は翌年9月10日までに学習を終えることが必要です(継続は可ですが、あらかじめ翌年度に履修登録する科目の授業料が必要です)。

履修希望科目 ※該当するものに○をつけて、下欄に合計単位数・授業料・科目数を記入してください。

授業科目の名称	履修方法	単位数	授業料	履修希望
福祉と養護	R	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
相談支援 ※2	R or SR	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
保健と食と栄養	R	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
乳児保育 ※1	SR	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
合計		8 単位	48,000 円	4 科目

※入学金30,000円が別途必要です。

※1 スクーリング受講の際、別途10,000円のスクーリング受講料が必要です。

※2 スクーリング受講は必須ではありませんが、受講する場合は別途5,000円のスクーリング受講料が必要です。

幼稚園教諭免許状のコピー同封確認

私は、幼稚園教諭免許状を所持しており、幼稚園教諭免許状のコピーを同封しました。

実務経験(3年間)の有無

出願時に実務経験3年間以上かつ4,320時間以上を有する
 出願時には実務経験3年間以上または4,320時間以上を有さないが、下記の欄で勤務中、または採用見込みで今後有する見込みがある

実務経験を獲得した(またはする見込み)勤務先

勤務先幼稚園・施設名	種別(右下表参照・該当するものに○)	勤務期間	1日あたりの平均勤務時間	1週間あたりの平均勤務日数
△△幼稚園	① 幼稚園または特別支援学校幼稚園 2 3 4 5	昭和・平成 61年 4月 1日～ 昭和・平成 7年 3月 31日	8 時間	5 日
△□子ども園	1. 幼稚園または特別支援学校幼稚園 ② 3 4 5	昭和・平成 10年 4月 1日～ 昭和・平成 18年 3月 31日	4 時間	5 日
□○幼稚園	① 幼稚園または特別支援学校幼稚園 2 3 4 5	昭和・平成 23年 4月 1日～ 昭和・平成 年 月 日	6 時間	4 日
	1. 幼稚園または特別支援学校幼稚園 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日
	1. 幼稚園または特別支援学校幼稚園 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日

特例科目の修得予定年数(アンケート)

1年間ですべての科目を修得予定
 2～3年かけて修得予定

「乳児保育」のスクーリング受講希望日(アンケート)

8/10・11(月・火)のスクーリングが受講しにくいいため、12/12・13(土・日)にスクーリング受講を希望します。

所持している幼稚園教諭免許状のコピーを必ず同封してください。

実務経験種別
1. 幼稚園、または特別支援学校幼稚園
2. 認定こども園
3. 保育所、またはへき地保育所
4. 認可外保育施設(p.40～41の基準を満たすものに限る)
5. 幼稚園併設型認可外保育施設(p.40～41の基準を満たすものに限る)

現在在職中の場合は、期間の終わりを未記入にしてください。

7 「保育士資格を所持して幼稚園教諭免許状を希望する方の履修希望科目登録用紙(様式8)」記入上の注意

黒インクまたは黒ボールペンを使用し、すべて本人自筆で記入してください。

1年間で8単位取得希望の方は、すべてに○をお付けください。ただし、履修した科目が1年間で取得できないと翌年度も授業料が必要になりますので、ご注意ください。

単位数、合計金額、科目数をご記入ください。

確認のため、保育士証のコピーを同封したうえで、皆様○をお付けください。

現時点での実務経験3年以上かつ4,320時間以上の有無についてお書きください。なお、実務経験に関する証明書の大学への提出は不要ですが、下欄に実務経験をご記入ください。

幼保特例講座による免許状・資格取得に必要な実務経験3年以上かつ4,320時間以上を申請時に満たす見込みの方は、こちらに○を付け、下欄にこれまでの実務経験や今後実務経験を有する見込みの勤務先をご記入ください。なお、現時点で必要な実務経験を満たす見込みのない方(採用などが決まっていない方)は、本幼保特例講座の受講はできません。

実務経験について、勤務先保育園・施設名を記入し、該当する種別に○をお付けください。また、施設ごとの勤務期間と勤務期間中の平均勤務時間などもご記入ください。

本幼保特例講座の科目を修得するために、在籍する予定年数に○をお付けください。なお、入学後に変更しても構いません。

様式8・科目等履修生のみ

2015年度 履修希望科目登録用紙 兼 実務経験申告書 (保育士資格所持・幼稚園教諭免許状希望) 幼

氏名 福祉 誠子

学籍番号	※
受付番号	※

※記入しないでください

私は保育士資格を所持し、下記の期間で3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有し(見込を含む)、幼稚園教諭免許状取得を希望しているため、入学年度は下記に記載した特例科目の履修を希望します。なお、本特例講座を利用して免許状を申請する際に、法令で定められた実務経験を有さないなどの理由により、免許状が取得できなくても大学は責任を負えないことを了解いたします。

【注意】

- 1年間で取得できる予定の科目のみに○をお付けください。入学許可後の履修科目変更はできません。
- 年度途中での追加履修登録も可能です(別途手数料1,000円必要)。
- 履修した科目は4月生の場合は翌年3月10日、10月生の場合は翌年9月10日までに学習を終えることが必要です(継続は可ですが、あらかじめ翌年度に履修登録する科目の授業料が必要です)。

履修希望科目 ※該当するものに○をつけて、下欄に合計単位数・授業料・科目数を記入してください。

授業科目の名称	履修方法	単位数	授業料	履修希望
教職論	R	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
教育社会学	R	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
初等教育課程の意義と編成	R	1	6,000円	<input checked="" type="radio"/>
教育方法論(保育内容研究を含む)	R	2	12,000円	<input checked="" type="radio"/>
幼児理解と保育相談	R	1	6,000円	<input checked="" type="radio"/>
合計		8 単位	48,000円	5 科目

※入学金30,000円が別途必要です。

保育士証のコピー同封確認

私は、保育士資格を所持しており、保育士証のコピーを同封しました。

実務経験(3年間)の有無

- 出願時に実務経験3年間以上かつ4,320時間以上を有する
- 出願時には実務経験3年間以上または4,320時間以上を有さないが、下記の施設で勤務中、または採用見込みで今後有する見込みがある

実務経験を獲得した(またはする見込み)の勤務先

勤務先保育園・施設名	種別 (右下表を参照・該当するものに○)	勤務期間	1日あたりの平均勤務時間	1週間あたりの平均勤務日数
〇〇保育園	①保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 18年 4月 1日～ 昭和・平成 20年 3月 31日	8 時間	5 日
△△保育所	①保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 21年 4月 1日～ 昭和・平成 24年 3月 31日	6 時間	4 日
□□子ども園	1. 保育所、またはへき地保育所 ② 3 4 5	昭和・平成 25年 4月 1日～ 昭和・平成 年 月 日	8 時間	5 日
	1. 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日
	1. 保育所、またはへき地保育所 2 3 4 5	昭和・平成 年 月 日～ 昭和・平成 年 月 日	時間	日

特例科目の修得予定年数(アンケート)

- 1年間ですべての科目を修得予定
- 2～3年かけて修得予定

実務経験種別

1. 保育所、またはへき地保育所
2. 認定こども園
3. 認可外保育施設 (p.42の基準を満たすものに限る)
4. 幼稚園併設型認可外保育施設 (p.42の基準を満たすものに限る)
5. 幼稚園において、もっぱら幼児の保育に従事する職員

■所持している保育士証のコピーを必ず同封してください。

現在在職中の場合は、期間の終わりを未記入にしてください。

8 レポート課題

- ・ 幼保特例講座のレポート課題は、すべて○×問題や穴埋め問題などの客観式問題です。
- ・ 大学から教科書と一緒に送付される専用レポート用紙に直接解答を記入し、郵送で提出するか、「TFUオンデマンド」にログインし、web上で解答する方法があります。
- ・ 資格・免許状の取得に必要な科目すべて（**関**4科目、**幼**5科目）を「TFUオンデマンド」上で解答すると、修了時（学生証返納時）に10,000円を返金する制度があります。

【保育士資格取得コース 例題】 「相談支援」 1単位めより一部抜粋

問1 以下の文章を読んで、内容が正しい場合は○、間違っている場合は、×を（ ）内に記入しなさい。

- () ← 1) 家庭支援の対象は、子どもを生み育てる家庭、子どもが育っている家庭である。
 () ← 2) ウェルフェアとウェルビーイングは同じ意味である。
 () ← 3) 近年の育児は、単相的育児環境から複相的育児環境へと変化している。

問2 以下の文章の（ ）に入る適切な言葉を解答欄に記入しなさい。（ ）内に入れる言葉は、教科書で使用されている言葉のみを正解とします。順番も教科書に記載されているとおりに解答してください。なお、同じ番号には同じ言葉が入ります。

- 1) 保育者に求められる専門的な技術は、(1)の技術、(2)の技術、(3)の技術、(4)の技術、(5)技術、である。
 2) 合計特殊出生率の低下は、(6)、(7)、(8)が主な原因と考えられる。
 3) 児童福祉六法とは、(9)、(10)、(11)、(12)、(13)、(14)である。

【幼稚園教諭免許状取得コース 例題】 「教育社会学（特例）」 1単位めより一部抜粋

問1 次の条文の（ ）に入る適語を、解答欄に記入しなさい。（ ）内に入れる言葉は、テキストで使用されている言葉のみを正解とします。

- 1) すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に（ 1 ）を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。（日本国憲法第26条第2項）
 2) 教育は、（ 2 ）を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。（教育基本法第1条）
 3) 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その（ 3 ）にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。（教育基本法第3条）

問2 次の各文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

- () ← 1) 学校教育法第1条で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、大学及び高等専門学校である。
 () ← 2) 学校は、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。
 () ← 3) 学校を設置することができる「法律に定める法人」には、学校法人、特定非営利法人が含まれる。

9 科目修了試験

- ・ 科目修了試験は、p.55のスケジュール・会場で実施予定です。
- ・ **会場確保の都合上、日程や開催地が変更される場合がございます。**また、東京会場などでは受験者数によって、試験開始時刻が変更になることがあります。ご了承ください。
- ・ 科目修了試験を受験するためには、申込締切日までにレポートを郵送で提出するか、web解答で合格する必要があります。
- ・ 会場試験では1回の試験で4科目まで、在宅web科目修了試験では1回に1科目のみ受験可能です。
- ・ 「初等教育課程の意義と編成」「幼児理解と保育相談」の2科目のみについて、「TFUオンデマンド」を用いた在宅でのweb科目修了試験を実施しています。

- ・ 幼保特例講座の科目修了試験合格率は、平均89%程度です。問題用紙は自分が受験する以外の科目の問題も掲載されており、持ち帰りが可能なため次回の試験対策に役立てていただけます。

10 スクーリング

以下の科目は保育士資格取得希望者のみ受講が可能です。

「乳児保育」【スクーリング受講必須】

開講日程 ① 8 / 10・11 (月・火) 8 / 10 10:50~18:00 8 / 11 9:20~16:30
 ② 12 / 12・13 (土・日) 12 / 12 10:50~18:00 12 / 13 9:20~16:30
 ※①②のいずれか1回2日間を受講してください

「相談支援」【スクーリング受講は任意】

開講日程 8 / 8・9 (土・日) 8 / 8 10:50~18:00 8 / 9 9:20~16:30
 ※自宅のパソコンで受講できるオンデマンド・スクーリングも開講します

11 幼保特例講座についてのよくあるお問い合わせ

Q7 すでに出身校で一部の科目を修得済みですが、免除になる科目はありますか。

A. 幼稚園教諭免許状取得希望者は、幼稚園教諭免許状申請用の「学力に関する証明書」を、保育士資格取得希望者は「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書（特例教科目）」を出身校からお取り寄せいただき、①直接大学に持参していただくか、②証明書に、履修免除科目確認希望の旨と連絡先を記載した書面を同封して郵送いただくか、いずれかの方法で出願前にご相談ください。

Q8 すでに保育士試験で一部の科目に合格済みですが、免除になる科目はありますか。

A. 「保育士試験一部科目合格通知書」をご用意いただき、①直接大学に持参していただくか、②通知書に、履修免除科目確認希望の旨と連絡先を記載した書面を同封して郵送いただくか、いずれかの方法で出願前にご相談ください。

Q9 科目等履修生で出願する際、8単位は1年で修得できますか。

A. 平成26年度4月入学後7カ月めの10月末時点で8単位修得できていた方も110名ほどおられました（平成27年1月末時点では220名）。学習時間を確保できれば年間8単位を1年間で履修し終わることは可能であると思われます。ただし、個人差もありますので、ご不安な方は、入学時は2科目4単位などの履修登録にとどめていただき、2年目に残りの4単位を履修することも可能です。また、年度途中（4月生の方：6月・11月、10月生の方：11月・2月・6月）に追加履修登録も可能です（別途手数料1,000円必要：10月生2月分の手数料は不要）。

Q10 大学卒業も目指したいので、正科生として出願を希望する場合はどうしたらよいですか。

大学卒業や、これを機会に特例科目と合わせて社会福祉学や心理学の資格取得を希望する方は、「正科生」としてのご入学も可能です。正科生の学費は1年間で15~25万円程度となります（受講するスクーリング科目数により異なります）。

Q11 1年間で8単位修得するための会場での科目修了試験の受験回数を教えてください。

A. 幼稚園教諭免許状を取得する方は、5科目の科目修了試験受験が必要です。1回の試験で4科目まで受験できますので、最低限2回は科目修了試験会場に足を運んでいただく必要があります。1回の試験で1科目ずつ受験すると、5回は試験会場に足を運んでいただくこととなります。ただし、「初

等教育課程の意義と編成」 「幼児理解と保育相談」 は在宅web科目修了試験を実施しますので、それを利用する場合は会場試験受験は3科目になります。

保育士資格を取得する方は、3科目の科目修了試験受験が必要です。1回の試験で3科目すべて受験し合格すれば、その回のみで科目修了試験受験は終了となります。保育士資格を取得する方は本学で「乳児保育」2日間のスクーリング受講が必要になりますので、ご注意ください。

科目修了試験の日時、実施予定都市はp.55でご確認ください。

Q12 東北福祉大学まで通う必要はありますか。

A. 幼稚園教諭免許状を取得する方は、遠方に在住の場合本学へ来校する必要はありません。お住まいの近くの科目修了試験会場（一部科目は在宅web科目修了試験も可）で試験を受験すれば単位修得可能です。

保育士資格を取得する方で「乳児保育」を履修する場合は、本学に来校して2日間のスクーリングを受講する必要があります。

Q13 助成金申請予定のため、授業料（スクーリング受講料含む）の領収書を発行してもらう場合の手続きを教えてください。

A. 任意の書面で、①助成金申請のために授業料の領収証発行を希望する旨（領収証発行を希望する理由を明確に記載のこと）、②希望する領収証の宛名（助成金の種類によっては勤務先の施設を対象としているため、施設宛に発行することも可能です）の2点をご連絡ください。

また、発行の際、コンビニエンス・ストアで授業料（スクーリング受講料含む）を納入した際の受領証はご返却をお願いいたしております。

教員免許状更新講習が通信教育の方法で受講できます

東北福祉大学では、通信教育型学習方法による教員免許状更新講習を開講しております。

生徒指導や教材研究、部活指導などで通学講習を受ける時間が取りにくい先生方のために、自宅で自分のペースで学習できるカリキュラムをご用意いたしました。

子どもの発達に応じた指導、学校内外における連携協力等について学ぶ「必修領域」。「選択領域」では、児童生徒一人ひとりの持てる力を高めるための“特別支援教育”や児童生徒の心理的な発達を援助する“スクールカウンセリング”をテーマとしてよりよい支援を考え、それぞれを経験豊かな講師陣が指導いたします。

平成27年度の受講対象は、免許状を取得して10年経過し、修了確認期限が平成28・29年度末となっている下記の生年月日の現職の先生方です。

現職教員等の方々で平成28年3月31日および平成29年3月31日が修了確認期限の方			
生 年 月 日			修了確認期限
昭和55年4月2日 ～昭和56年4月1日	昭和45年4月2日 ～昭和46年4月1日	昭和35年4月2日 ～昭和36年4月1日	平成28年3月31日
昭和56年4月2日 ～昭和57年4月1日	昭和46年4月2日 ～昭和47年4月1日	昭和36年4月2日 ～昭和37年4月1日	平成29年3月31日

ご自身が受講対象かどうかは、文部科学省ホームページにてご確認ください。

詳細につきましては、本学ホームページ（<http://www.tfu.ac.jp/tushin/teacher/>）または通信教育部までお問い合わせください。

幼保特例講座 入学説明会のご案内

入学説明会に参加しないと、入学できないということはありません。お気軽にお越しください（事前予約・お申し込みは不要です）。ご質問は、本学通信教育部窓口（平日・土曜日 9時～5時）、お電話（通信教育部直通022-233-2211、ただし水曜日は電話対応休止日）、FAX（022-233-2212）、メール（yh@tfu-mail.tfu.ac.jp）、郵便で承っております。

■平成27年度入学者向け 本学独自の説明会

説明会では約30分の全体説明の後、個別相談を行います。できましたら相談会の開始時刻までにお集まりください。

なお、個別相談のみの受付も可能ですが、全体説明をお聞きのうえ、個別相談をご利用いただくことを推奨しております。[幼保特例講座以外の入学希望者向けの全体説明時間はp.18～19をご参照ください。](#)

開催地	開催日	開催時間	会場
仙台	2 / 28(土)	13:00～15:00	東北福祉大学 国見キャンパス (教室は当日の構内掲示板でご確認ください) 仙台市青葉区国見1-8-1 TEL: 022-233-2211 仙台駅前(さくら野百貨店向かい・EDEN前) 24・25番乗り場より市バス30分「東北福祉大前」下車、またはJR仙山線「東北福祉大前」駅より徒歩5分
	3 / 15(日)	10:00～11:30	
	3 / 28(土)	13:00～15:00	
	4 / 5(日)	10:00～11:30	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス (教室は当日の構内掲示板でご確認ください) 仙台市宮城野区榴岡2丁目5-26 仙台駅東口から宮城野通沿い(北側) すぐの茶色の7階建てビル。西口(中央改札口側)からは徒歩約5分。 ・東西地下自由通路(仙台駅仙石線東口方面)、東側1番出入口から地上に出るすぐ。 ・2階東西自由通路で東口へ、BiVi仙台駅東口ビル・タクシー乗り場付近から横断歩道を渡りすぐ。または東口へ出て高速バスターミナル側へ降りてロッセリア前から横断歩道渡る。 2015年12月開通予定の地下鉄東西線・宮城野通駅からすぐ。
	6 / 20(土)	14:00～15:30	
	7 / 26(日)	10:00～11:30	
	8 / 22(土)	14:00～15:30	
	9 / 13(日)	10:00～11:30	
10 / 3(土)	14:00～15:30		
札幌	2 / 22(日)	10:00～13:00	かでの 2・7 5階510会議室 (5 / 16, 8 / 29は3階310会議室) 札幌市中央区北2条西7丁目1 JR札幌駅より徒歩10分
	5 / 16(土)	11:30～12:30	
	8 / 29(土)	13:30～15:00	
青森	3 / 1(日)	13:00～15:00	アスパム(青森県観光物産館) 5階「白鳥」 青森市安方1-1-40 JR青森駅より徒歩10分
	4 / 5(日)	11:30～13:00	アウガ(青森市男女共同参画プラザ) 5階研修室 青森市新町1-3-7 アウガビル5階 JR青森駅より徒歩3分
	8 / 23(日)	11:30～12:30	
盛岡	2 / 28(土)	11:30～12:00	アイーナ 8階 会議室803(4 / 4は研修室810 8 / 22は会議室701) 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 JR盛岡駅より徒歩4分(西口 マリオス隣)
	4 / 4(土)	11:30～13:00	
	8 / 22(土)	11:30～12:30	
	9 / 6(日)	13:30～15:00	
秋田	3 / 1(日)	13:00～15:00	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室 秋田市山王中島町1-1 JR秋田駅西口より「中央交通線」「交通局線・県立プール線」 ほかのバス15分「県立体育館前」下車徒歩2分
	9 / 5(土)	9:30～11:00	

開催地	開催日	開催時間	会場
山形	3 / 22(日)	11 : 30~13 : 00	遊学館 (山形県生涯学習センター) 3階第2研修室 山形市緑町1-2-36 JR山形駅より徒歩20分 またはバス市役所経由路線バス約10分「市役所前」下車徒歩5分
福島	9 / 5(土)	9 : 30~11 : 00	福島テルサ 3階中会議室 (あづま) 福島市上町4-25 JR福島駅より徒歩10分 サンバレス福島となり
東京	4 / 4(土)	10 : 00~12 : 00	東京サテライト (四ツ谷) 新宿区四谷1-8-8 佐伯千成ビル7階
	8 / 30(日)	11 : 30~12 : 30	JR・東京メトロ 四ツ谷駅四ツ谷口から徒歩3~5分
新潟	3 / 1(日)	11 : 30~13 : 00	新潟医療福祉カレッジ 2号館 新潟市中央区笹口2-5-1
	9 / 6(日)	11 : 30~12 : 30	JR新潟駅南口より徒歩3分
静岡	9 / 6(日)	10 : 00~11 : 00	静岡県立大学短期大学部 (小鹿キャンパス) 教育棟 静岡市駿河区小鹿2-2-1
		11 : 30~12 : 30	JR静岡駅よりバス約15分「小鹿局前」下車徒歩3分

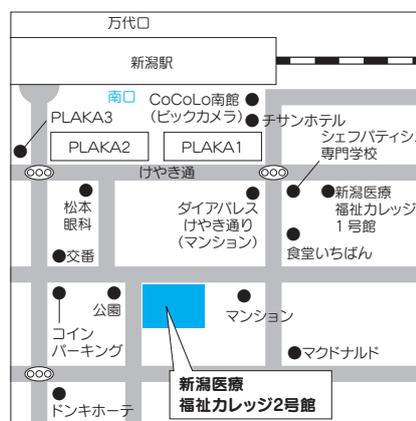
■平成27年度入学者向け 私立大学通信教育協会ほか主催 合同説明会

他大学の通信教育部と合同の入学説明会の予定は、p.19をご覧ください。

東京会場 ▶ **東北福祉大学
東京サテライト (四ツ谷)**



新潟会場 ▶ **新潟医療福祉カレッジ
2号館**



修了者からのメッセージ

保育士資格取得希望者

下山 知江子さん
(宮城県在住)



幼稚園教諭免許状を所持しており、認定こども園で働いています。保育士の資格を取得したく、2014年4月から通信教育部で特例講座を受講しました。

5・6・7月の科目修了試験で1科目ずつ単位修得し、8月の「乳児保育」のスクーリングも合格し、10月の全科目試験免除の保育士試験受験申請に間に合いました。レポートは勉強になりました。

幼稚園教諭免許状取得希望者

片野 敦子さん
(福島県在住)



保育士として働いています。通信教育だと、仕事をしながら自分の住んでいる地域で無理なく学習ができると思い入学しました。休みの日に1つずつ集中してレポートを仕上げ、6月に4科目郡山で、7月に1科目在宅web上で科目修了試験を受験・合格し、いま教育委員会に幼稚園教諭免許状を申請しているところです。働きながらの勉強は新鮮でした。

通信教育部福祉心理学科・社会福祉学科の卒業生からメッセージをいただきました。参考までにご覧ください。

●社会福祉学科で学んだことをいかしておられる声

- ▶ 居宅介護支援事業所のケアマネージャーをしています。これまで狭い視野でしか考えられなかったことが大学教育にて専門性を深めることができ、広く物事をみて考える事が出来るようになったと思います。それは知識の取得だけではなく、考える力が身についたという事だと感じます。 (40代 女性)
- ▶ 児童発達支援の仕事をしています。クライアントに対する個別対応に加え、地域資源の開発や連携など、子供たちやその親、学校などがうまく関わられるような活動もやってみたいと考えています。 (50代 女性)
- ▶ 現在、市役所の福祉事務所において生活保護の相談員をしているので、学習したことをすぐに実践で活かすことができました。面接の仕方や精神障害を持っている人への対応、各種相談における詳細なアドバイスなど、本当に役立つ事ばかりでした。人それぞれが違った思考や感情を持っているので、画一的な支援や助言ではなく、フレキシブルな対応が重要であることも学ぶことができました。 (40代 女性)
- ▶ 相談支援を行う上での考え方や技術が役立っています。クライアントの思いを深く考えることができるようになり、人間的にも成長することができたと感じます。 (40代 女性)
- ▶ 現在、障害者施設で支援員として勤務しています。学習した理論や技術等を参考にして自分なりに考えることで、色々な課題を解決することができるようになりました。 (30代 女性)
- ▶ 老健にて生活相談員をしています。途中、地域包括支援センターへの異動を経て再び現職へ戻りましたが、いずれの場でも本人、家族への支援を行う上で、面接技術や法令の理解、社会保障の説明などの場面で、より具体的な提案を行うことができるようになりました。 (50代 女性)
- ▶ 今後もケアマネージャーとして仕事をしていきたいと思っています。福祉の専門職として、目先の利益に左右されることなく、倫理観をもって職務をまっとうしたいと思います。 (40代 女性)
- ▶ 東日本大震災で母を亡くし、入学当初の目的としていた母をサポートすることはできなくなりました。自分自身も全てのものを津波で失い、今後の目標を変える必要性に迫られました。そのような中で福祉という学問は私の生きるうえでの支えになっています。 (40代 男性)

●福祉心理学科で学んだことをいかしておられる声

- ▶ 高齢者や障害者の心理面の支援を行うにはどのようなアプローチをしていくと良いか学びたく、入学しました。たくさんの文献に触れ、こんな考えもあるけれども、違う見方もあるということもわかり、一つの側面だけに拘ってはいけないということ学びました。本当に大学での学びが役立つのはこれからだと思いますが、物事を多角的に見ることを常に忘れないでいたいです。 (40代 女性)
- ▶ 現在保育士として勤めています。今後も子育て支援で保護者の色んな相談、不安や悩みなどの聞き役になれるといいなと思っています。 (30代 女性)
- ▶ 通信教育は続かない、というのが一般的な通説かもしれませんが、この2年間は現役の大学時代よりも勉強しました。短い期間でしたが、自分の人生のなかで一番充実した日々だったと思います。 (40代 女性)
- ▶ レポートを作成するたびに自信ができました。必ずできるということを信じて、前に向かってほしいです。 (40代 女性)
- ▶ これまで以上にひとが好きになり、ひとに感謝の気持ちを素直に持てるようになったと感じます。 (50代 女性)
- ▶ 単なる心理学科ではなく、「福祉心理学科」に入学して学んだことにより、社会福祉系の学問に触れることができ、福祉に対する考え方を幅広く理解できるようになりました。福祉の場での心理学的理解を深め、ボランティア等で生かしていきたいと考えています。 (50代 女性)
- ▶ 地域で子どもにテニスを教えています。指導する上で、こどもの心や発達についてより具体的に理解できるようになりました。個人の尊厳と自己実現が保障されていることを学び、指導を通して子どもたちに、「あなたはあなたでいい」と説いています。 (60代 男性)
- ▶ 心身障害者への日中支援の仕事をするうえで、心理学の知識はとても役立っています。 (30代 女性)
- ▶ 自分自身の行動や考えを客観的に見ることが出来るようになったと感じます。ストレスを調整しながら、なすべきことをやり遂げることを学びました。 (50代 女性)